

第3回呉市都市計画マスタープラン検討委員会資料

呉市都市計画マスタープラン 地域別構想（素案）

令和4年8月

目 次

第4章 地域別構想

4.1 地域別構想の役割	7 6
4.2 地域別の都市づくりの方針	7 9
(1) 中央地域	7 9
(2) 宮原地域	8 6
(3) 警固屋地域	9 0
(4) 吉浦地域	9 4
(5) 天応地域	9 8
(6) 昭和地域	1 0 2
(7) 郷原地域	1 0 8
(8) 阿賀地域	1 1 2
(9) 広地域	1 1 6
(10) 仁方地域	1 2 2
(11) 川尻地域	1 2 6
(12) 安浦地域	1 3 0
(13) 音戸地域	1 3 4
(14) 倉橋地域	1 3 8
(15) 下蒲刈地域	1 4 2
(16) 蒲刈地域	1 4 6
(17) 豊浜地域	1 5 0
(18) 豊地域	1 5 4

第5章 都市づくりの推進方策

5.1 都市の将来像の実現に向けた都市づくりの展開	1 6 0
5.2 都市計画マスタープランの進行管理と適切な見直し	1 6 1

第4章 地域別構想

4.1 地域別構想の役割

4.2 地域別の都市づくりの方針

- | | |
|-----------|------------|
| (1) 中央地域 | (10) 仁方地域 |
| (2) 宮原地域 | (11) 川尻地域 |
| (3) 警固屋地域 | (12) 安浦地域 |
| (4) 吉浦地域 | (13) 音戸地域 |
| (5) 天応地域 | (14) 倉橋地域 |
| (6) 昭和地域 | (15) 下蒲刈地域 |
| (7) 郷原地域 | (16) 蒲刈地域 |
| (8) 阿賀地域 | (17) 豊浜地域 |
| (9) 広地域 | (18) 豊地域 |



4.1 地域別構想の役割

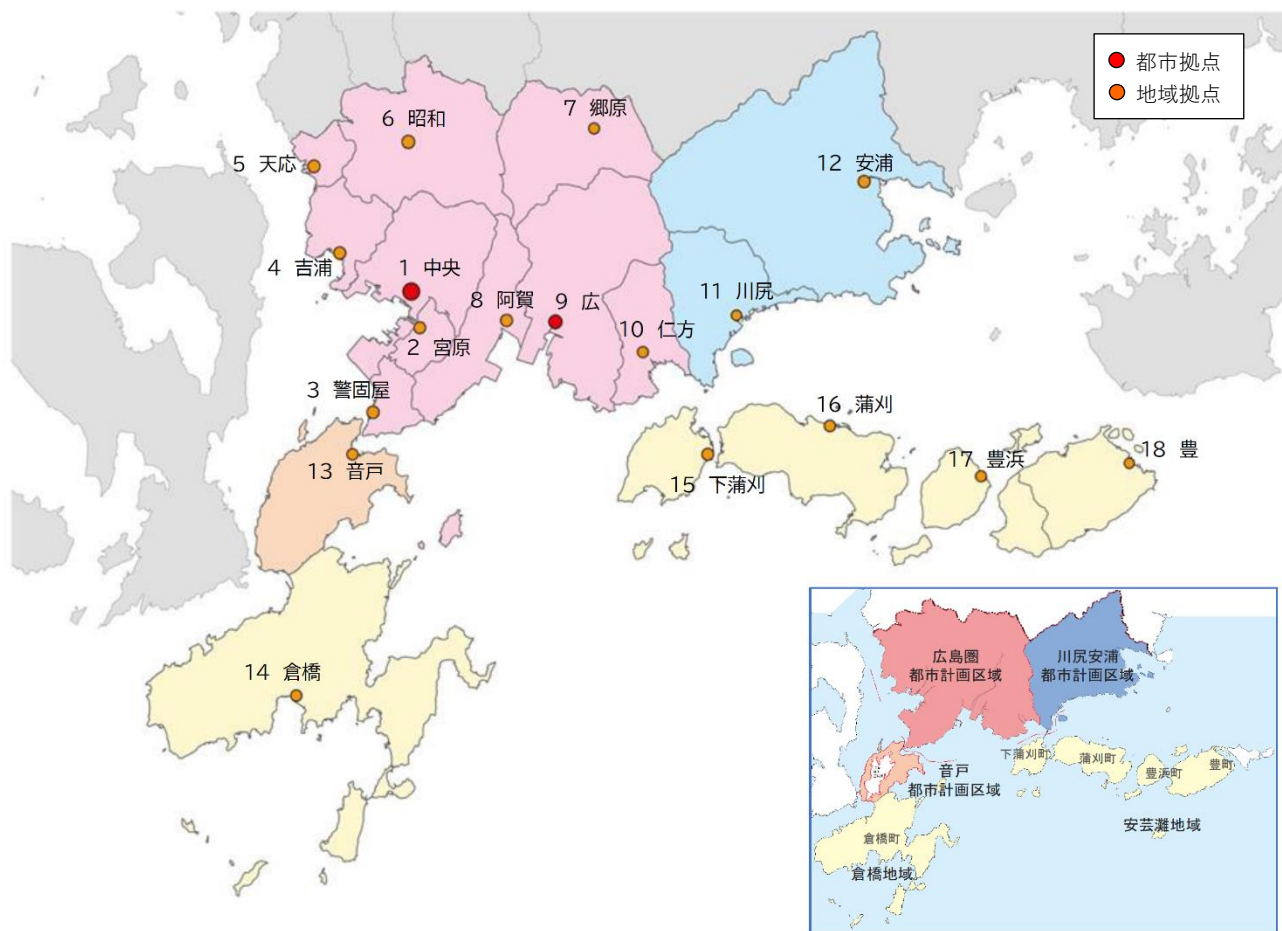
(1) 地域別構想の役割

地域別構想は、全体構想で示した都市の将来像の実現のための地域別の都市づくりの施策などを定めます。

(2) 地域の設定

地域別構想は、市民生活の基本的な生活圏となる都市拠点及び地域拠点の18地域を単位として策定します。

地域区分図



(3) 地域別構想の構成

①地域の役割

全体構想の将来都市構造などの位置付けから、地域の担う役割を示します。

②地域の概況と特性

地域の人口動向やニーズなどから地域の概況と特性を示します。

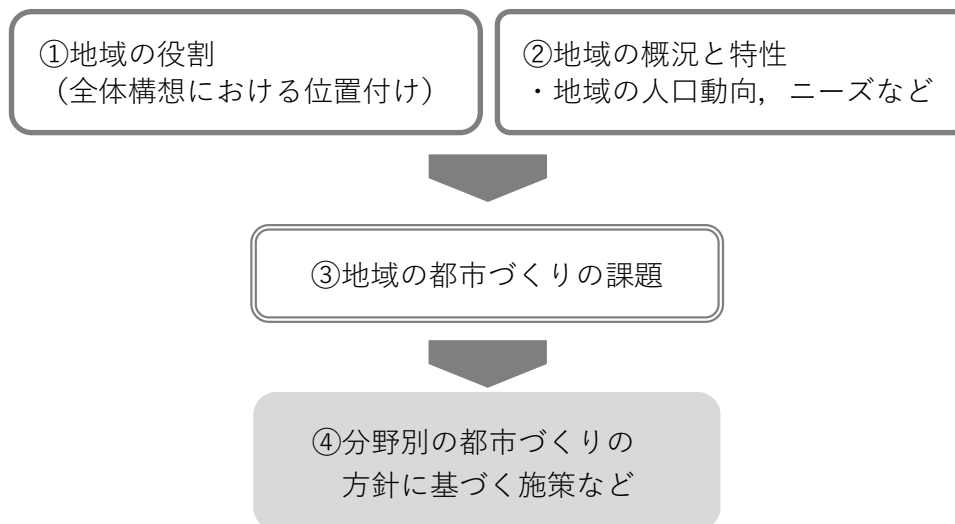
③地域の都市づくりの課題

全体構想における地域の役割や地域の概況と特性から地域の課題を整理します。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

地域の課題を解決し、全体構想で示す方針に沿って、地域内で取り組む施策や事業などを示します。

[地域別構想の構成イメージ]



4.2 地域別の都市づくりの方針

(1) 中央地域

■ 地域人口（令和2年国勢調査）

49,650 人

（総人口に占める割合：23.1%）

■ 地域面積

2,007ha

（総面積に占める割合：5.7%）



位置図

① 地域の役割

地域の役割
都市拠点 ● ・ 呉市全域及び広島圏域の中核を担う地域で、多様な都市機能の集積を図ります。 ・ ミクストユースによる多様性のあるまちなかの形成により、にぎわいを創出します。
生産流通拠点 ● ・ 沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業を中心とした産業の維持・強化を図るとともに、大規模な事業所の跡地において新たな活力の創出を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 呉市の中核となる地域ですが、人口減少や少子高齢化が進展しており、人口減少の割合が市全域を上回っています。

都市生活

- ・ 広域的なサービス機能を有する多様な都市機能が集積しており、周辺地域も含め、買い物などの日常生活を支えています。

都市活動

- ・ 地域内には大和ミュージアムやてつのくじら館などの呉市の主要な観光施設が立地しています。
- ・ 中央地区商店街を中心として商業・業務地を形成していますが、買い物・外食・娯楽・レジャーに関しては広島市への結びつきも大きく、地域内での商業・娯楽施設の環境の充実が求められています。
- ・ 中央地区商店街では、リノベーションまちづくりに取り組んでいるとともに、令和4年4月に中央地域を活動地区とした都市再生推進法人を指定するなど、官民連携まちづくりの取組が始まっています。
- ・ 臨海部にもものづくり産業が集積し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。呉市の経済を支えてきた日本製鉄の全設備休止により、経済や雇用環境への影響が懸念されます。

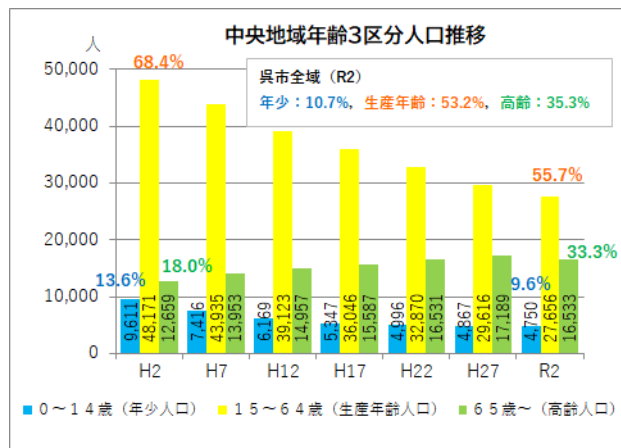
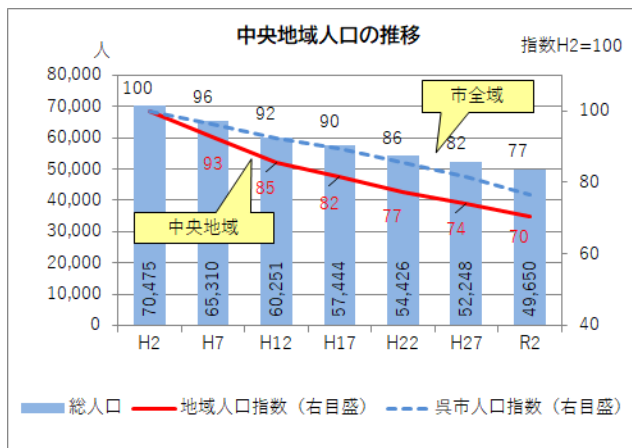
都市基盤

- ・ 市街地には平坦地が少なく、それを取り囲むようにすり鉢状に斜面地が広がっています。斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。また、土地価格の面からも住みにくいという声が多くなっています。
- ・ 地域には、JR呉駅及びJR川原石駅が立地しています。また、JR呉駅からは、各地域を結ぶバスが発着するとともに、中央棧橋ターミナルからは、江田島市や松山市などへの定期航路が就航しています。加えて、国道31号や国道185号、国道487号などによって地域外と結ばれており、これらの交通モードの総合交通拠点となる呉駅周辺地域総合開発を推進しています。
- ・ 災害に強い道路ネットワークの構築や広島市方面との連携強化に向け広島呉道路の4車線化に取り組んでいます。

都市環境

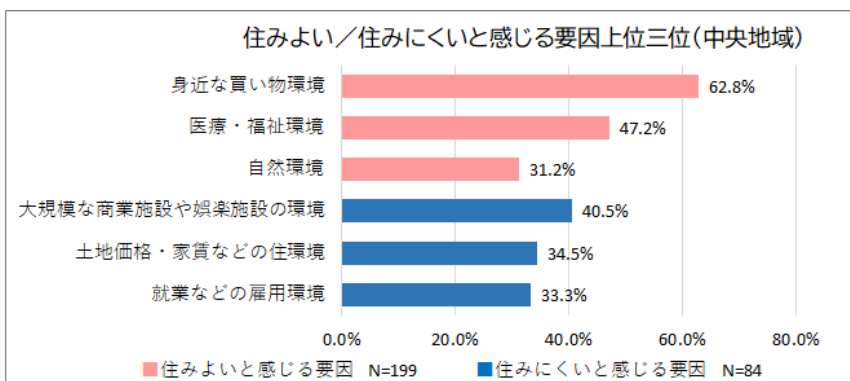
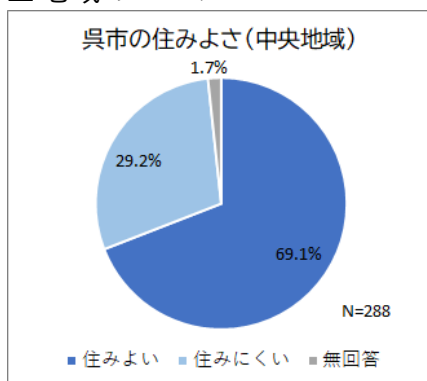
- ・ れんがどおりや蔵本通りなどを始めとして、れんがを基調とした景観づくりに取り組んでいます。
- ・ 臨海部では美しい自然景観と呉らしい産業景観が広がっています。

■人口の動向



資料: 総務省「国勢調査 (平成2年～令和2年)」

■地域のニーズ



資料: 「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

中央地域 (N=288)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	中央	86.1%	広島市	2.1%	昭和	1.7%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	60.8%	広島市	29.2%	広	2.4%
外食	中央	60.1%	広島市	23.3%	東広島市	4.5%
病気やけがの治療	中央	89.9%	広島市	3.1%	広	0.7%
文化・スポーツ活動, 習い事など	中央	59.4%	広島市	17.0%	東広島市	1.7%
娯楽・レジャー	広島市	47.2%	中央	22.9%	東広島市	5.9%
通勤・通学	中央	47.9%	広島市	14.2%	昭和	4.2%

資料: 「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

[レンガパークとてつのくじら館]



[都市再生推進法人によるマルシェの開催]



◇地域のまちづくり活動

中央地域には九つのまちづくり委員会が設置されており, それぞれの地域まちづくり計画を策定し, 防災活動や祭りなどの伝統行事の継承活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。また, 都市再生推進法人によるエリアマネジメントの取組が始まっています。

(九つのまちづくり委員会)

第2地区まちづくり委員会, 第3地区まちづくり委員会, 第4地区まちづくり委員会, 第5地区まちづくり委員会, 第6地区まちづくり委員会, 中央地区まちづくり委員会, 第8地区まちづくり委員会, 三条地区まちづくり委員会, 川原石地区まちづくり委員会

③地域の都市づくりの課題

- ・都市拠点の形成に向け、多様な都市機能の集積とそれと一体的な交通ネットワークの構築が必要です。
- ・これらの都市的サービスを支える人口の集積に向け、居住の受け皿の整備や多様性のある魅力的なまちなかの形成に向けた重点的な取組が必要です。
- ・にぎわいの創出を図るとともに、交通まちづくりの起点となる総合交通拠点として、呉駅周辺地域総合開発を推進していく必要があります。
- ・災害リスクの高い区域における新たな土地利用の抑制と併せ、居住誘導区域内の安全な居住環境の確保に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持や大規模事業所の跡地における新たな活力の創出と雇用の場の確保に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。
- ・観光まちづくりを進めていくため、多様な地域資源を活かした呉らしい景観づくりや観光施設の機能強化などを図る必要があります。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・職住近接を支える利便性の高い居住環境整備に向けた柔軟な土地利用の検討
- ・土地の高度利用などによるまちなか居住の誘導
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■呉駅周辺地域総合開発の推進

- ・旧そごう呉店跡地における都市機能及び居住機能の整備と連鎖的な民間開発の誘導

■多様性に富んだウォーカブルで魅力的なまちなか形成

- ・中央地区商店街などにおけるリノベーションまちづくりの推進や低未利用地の活用検討、それらと一体となった駐車場施策の検討
- ・住商混在の土地利用や複合建築物などのミクストユースの誘導とグランドレベルの機能強化に向けた土地利用の誘導

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化
- ・大規模事業所跡地における新たな雇用の創出と呉市の産業活力の向上に資する土地利用の検討

■観光まちづくりに資する都市機能の強化

- ・大和ミュージアム一帯の機能強化や青山クラブ・桜松館の活用の推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（広島呉道路，（主）※¹呉平谷線，（都）※²中央二河町線など）
 - ・道路の機能強化の推進（国道31号，国道185号，国道487号など）
 - ・トライアングルネットワーク※³の構築に向けた検討（広島呉道路（呉 IC～阿賀 IC 間）の整備検討）
 - ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進
- [道路ネットワークの構築に係る取組の定義]

方針	内容
道路整備	一定区間の道路の拡幅や多車線化などについて，関連計画の位置付けなどに基づき，今後 10 年以内に事業着手し，具体的な事業を進めるもの。また，機能強化を図るもの
機能強化	道路（橋りょうなどの施設を含む）の防災対策や交通安全対策，既存の道路の部分的な拡幅・多車線化など機能の強化を図るもの
整備検討	事業化に向けた整備の検討を行うもの

■多様性に富んだウォーカブルで魅力的なまちなか形成

- ・沿道の土地利用と一体となった道路空間の利活用の推進

■呉駅周辺地域総合開発の推進(次世代型総合交通拠点の形成)

- ・鉄道，バス，次世代モビリティなど多様な交通モードが集積する呉駅交通ターミナルの整備の推進
- ・JR 呉駅の橋上駅化に向けた検討

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・次世代モビリティなどの新たな交通モードの導入検討と多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■多様性に富んだウォーカブルで魅力的なまちなか形成

- ・公園空間の利活用及び公園施設の再整備の検討

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災，強靱化の方針

■呉駅周辺地域総合開発の推進

- ・帰宅困難者等の受入空間の確保など防災拠点機能の整備

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・中央公園の防災機能の強化
- ・広島呉道路や(主)呉平谷線などの道路整備の促進
- ・(都)中央二河町線の整備の推進
- ・二河川水系・堺川水系における流域治水の推進
- ・雨水ポンプ設備などの整備の推進
- ・土砂災害，水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全
- ・大規模な事業所跡地におけるグリーン社会の形成に資する土地利用の促進

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・歴史・文化，自然など呉らしさを体感できる景観の形成

※1 主要地方道，※2 都市計画道路

※3 トライアングルネットワーク：呉市と広島市，東広島市とを連携する高速交通ネットワーク

中央地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導による
コンパクトな市街地の形成

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となった
サイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

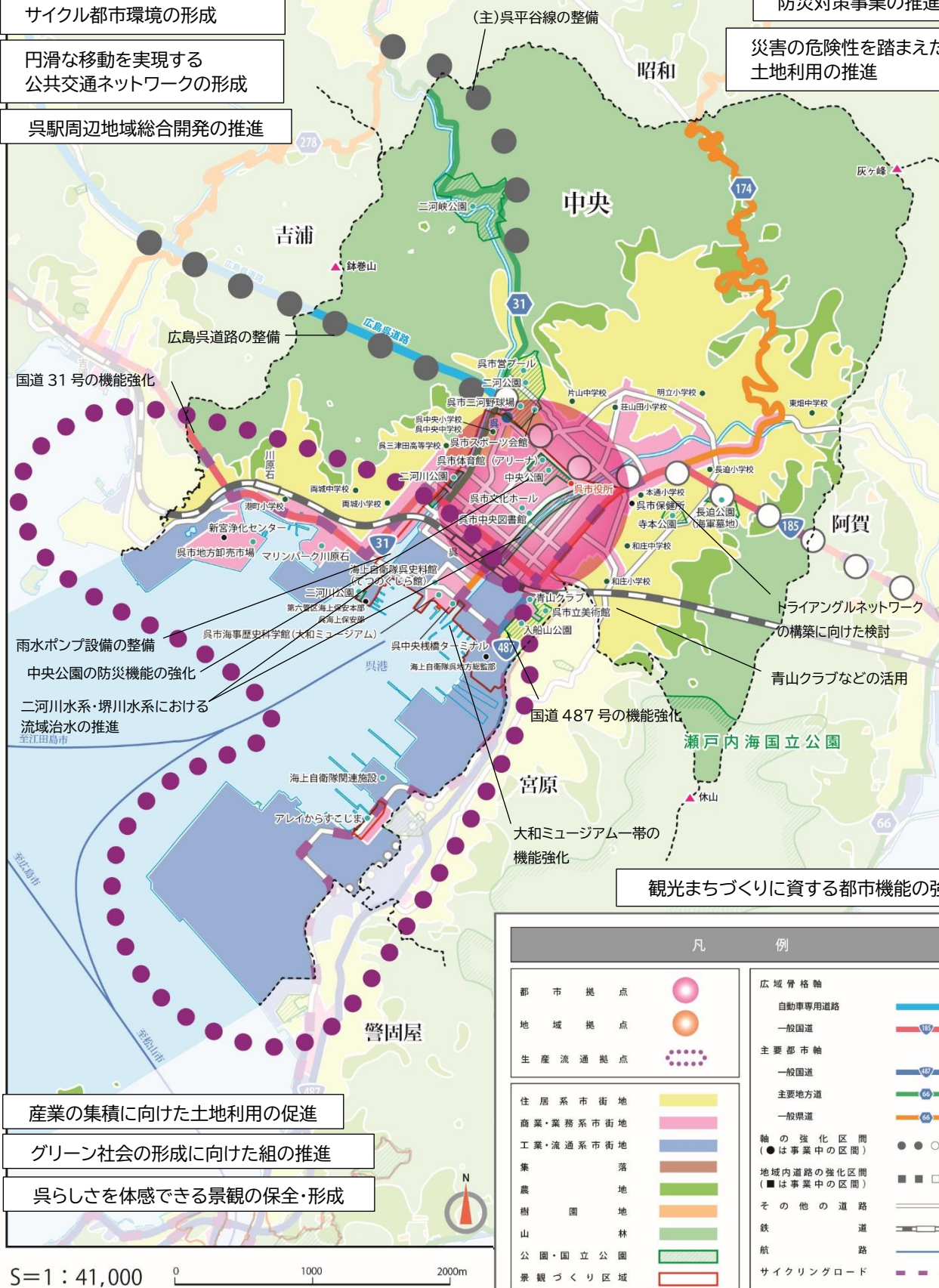
呉駅周辺地域総合開発の推進

多様性に富んだウォークブルで
魅力的なまちなか形成

効率的かつ効果的な施設整備と 維持管理の推進

防災対策事業の推進

災害の危険性を踏まえた 土地利用の推進



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

カ ウォーカブルなまちなかの形成の方針

中央地域においては、呉駅周辺地域総合開発や大和ミュージアムのリニューアルを始めとした観光まちづくり、また、中心市街地では、リノベーションまちづくりに加えて都市再生推進法人の指定によるエリアマネジメントに向けた取組など新たなまちづくりの取組が始まっています。

これらの取組を契機として、都市拠点（都心）としてのにぎわいの創出と魅力の向上を図るため、中央地域の都市づくりの方針に、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなかの形成に向けた方針を定めます。

ウォーカブルなまちなかの形成の方針

中央地域の市街地は、背後にそびえる灰ヶ峰の下に広がり、れんがどおりや蔵本通り、中央公園を始めとして、歩行空間や公園空間の整備に取り組み、れんがを基調とした町並みを形成しています。また、市街地内を流れる堺川は海へと続き、臨海部には潜水艦（てつのくじら館）や造船用のクレーンが建ち並ぶ、豊かな自然と呉らしさを体感できるまちなか景観を形成しています。ウォーカブルなまちなかの形成に当たっては、これまで築いてきた、これらの呉らしさを生かしながら取り組むことを基本とし、次のとおり重点的な施策を推進します。

■住む人・働く人・訪れる人が居心地良く、にぎわいと魅力のあるまちなかの再生

- ・呉駅周辺地域における連鎖的な民間開発の誘導や呉駅交通ターミナルの2階デッキを活用したにぎわいづくりの推進
- ・住、職、商、遊、学などのミクストユースの土地利用の誘導とグランドレベルの機能強化
- ・リノベーションまちづくりによる遊休不動産の活用促進
- ・大和ミュージアム一帯の機能強化や青山クラブ・桜松館などの利活用の推進
- ・沿道の土地利用と一体となった道路空間の利活用と道路の再整備の推進
- ・次世代型総合交通拠点の形成と回遊性の向上に向けた公共交通の確保（次世代モビリティの導入に向けた検討など）
- ・中央公園などにおける民間活力の導入及び再整備の推進
- ・アーバンスポーツ施設の整備の推進
- ・大和波止場や堺川などの水辺空間の活用検討
- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成

■まちなか居住の推進

- ・呉駅周辺地域における連鎖的な民間開発の誘導
- ・土地の高度利用などによるまちなか居住の誘導
- ・公有地を活用した都市機能・居住機能の誘導

■エリアマネジメント体制の構築

- ・都市再生推進法人などとの連携による官民連携まちづくりの推進

ウォーカブルなまちなかの形成の方針図

都市再生推進法人などとの連携による官民連携まちづくりの推進

土地の高度利用などによるまちなか居住の誘導

ミクストユースの土地利用の誘導とグランドレベルの機能強化(主要回遊軸及び回遊軸)

沿道土地利用と一体となった道路空間の利活用と道路の再整備の推進

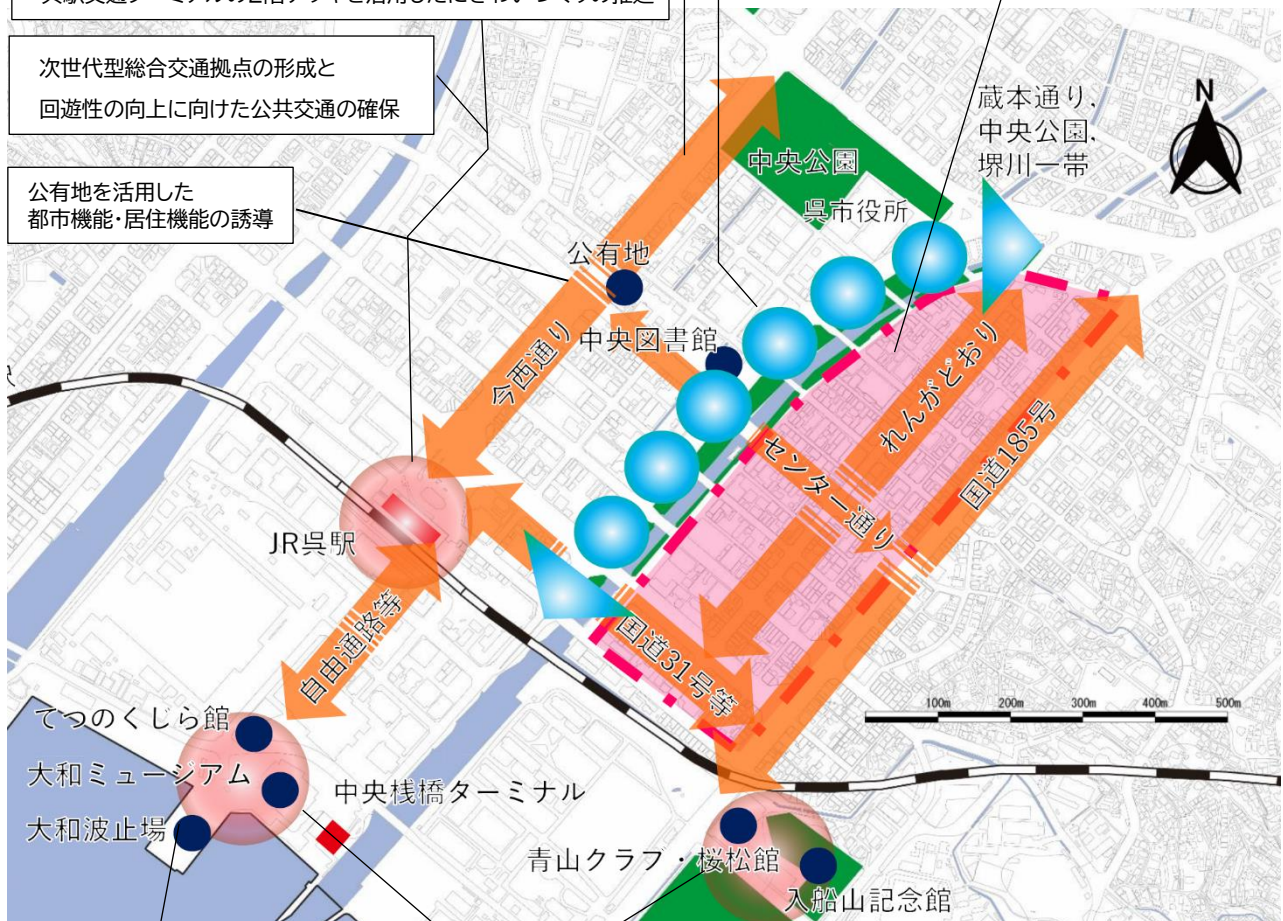
中央公園などにおける民間活力の導入及び再整備の推進

リノベーションまちづくりによる遊休不動産の活用の促進

呉駅周辺地域における連鎖的な民間開発の誘導と呉駅交通ターミナルの2階デッキを活用したにぎわいづくりの推進

次世代型総合交通拠点の形成と回遊性の向上に向けた公共交通の確保

公有地を活用した都市機能・居住機能の誘導



大和波止場や堺川などの水辺空間の活用検討

大和ミュージアム一帯の機能強化や青山クラブ・桜松館などの利活用の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

アーバンスポーツ施設の整備の推進

回遊の創出に向け強化を図る軸

◀ ● ● ● ● ▶ 主要回遊軸
(蔵本通り、中央公園、堺川、周辺市道の一帯)

↔ 回遊軸
(国道31号、国道185号、今西通りなど)

商業機能の強化を図るエリア

■ 商業エリア
(中央地区商店街の一帯)

※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

(2) 宮原地域

■ 地域人口（令和 2 年国勢調査）

6,690 人

（総人口に占める割合：3.1%）

■ 地域面積

395ha

（総面積に占める割合：1.1%）



位置図

① 地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・ 日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展しています。

都市生活

- ・ 国道487号の沿道において商業施設が立地するなど、一定の都市機能が立地し、日常生活を支えています。また、日用品以外の買い物や通院などの日常の行動においては、中央地域との結びつきが強くなっています。
- ・ 買い物・外食・娯楽・レジャーに関しては広島市や中央地域への結びつきが強く、商業・娯楽施設の環境の充実が求められています。

都市基盤

- ・ 市街地には平坦地が少なく、家屋が密集して立地しており、それを取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。
- ・ 斜面市街地を始めとして、狭い道路が多く、道路環境の改善が望まれています。
- ・ 地域内に鉄道はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、国道 487 号などによって中央地域と結ばれています。

都市環境

- ・ 休山を背景に瀬戸内海の自然景観と造船用のクレーンが立ち並ぶ呉らしい産業景観が広がっています。

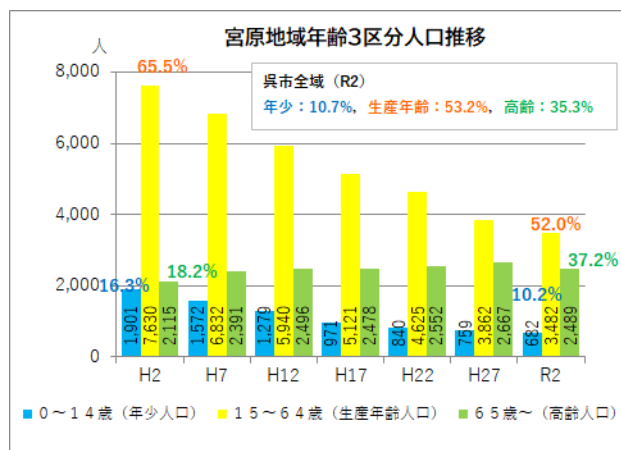
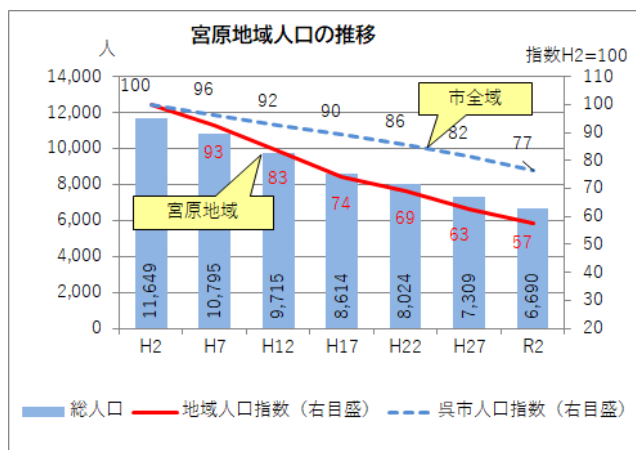
[造船用のクレーンが並ぶ景観]



[休山の山裾に広がる市街地]

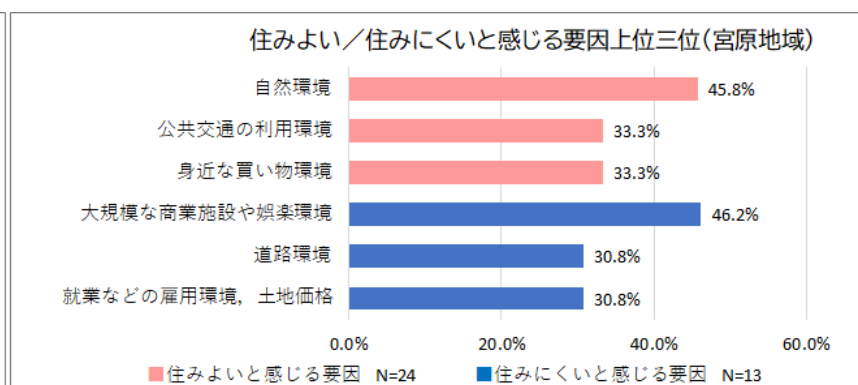
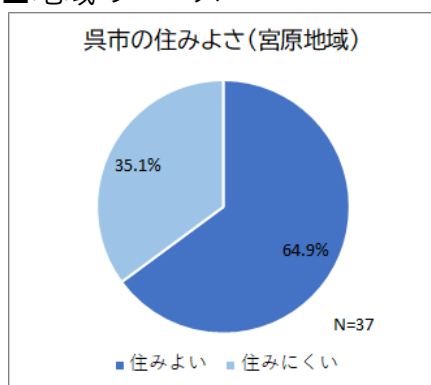


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

宮原地域 (N=37)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	宮原	51.4%	中央	32.4%	警固屋・昭和	2.7%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	70.3%	広島市	16.2%	東広島市・その他	2.7%
外食	中央	62.2%	広	10.8%	広島市・その他	5.4%
病気やけがの治療	中央	54.1%	宮原	24.3%	警固屋・広・広島市	2.7%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	54.1%	広島市	5.4%	宮原・警固屋・広・東広島市	2.7%
娯楽・レジャー	広島市	35.1%	中央	24.3%	東広島市	13.5%
通勤・通学	中央	16.2%	昭和	16.2%	宮原	13.5%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

宮原地域には宮原地区まちづくり推進委員会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動やホタルの里の整備など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・ 地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組むとともに、地域の生活を支える都市機能の立地に向け、幹線道路の沿道などの限られた平坦地における土地利用を図る必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・ 災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制や狭あいな道路の拡幅整備など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・ 呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・ 幹線道路の沿道の土地利用の促進
- ・ 空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・ 道路の機能強化の推進（国道487号など）
- ・ (都)本通昭和町線の整備検討
- ・ 狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・ 多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・ 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・ サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・ 都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・ 土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

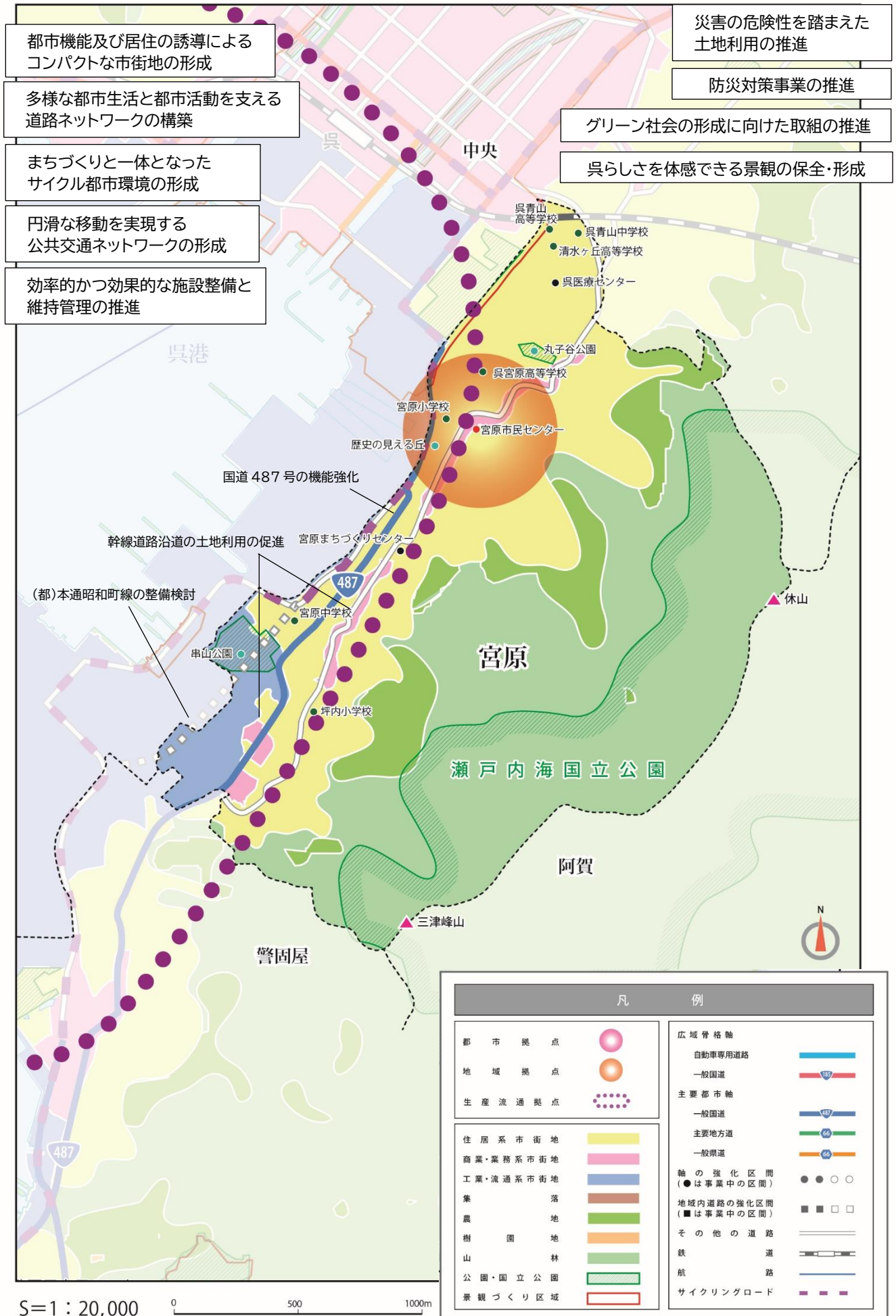
■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・ 豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・ 造船用クレーンが立ち並ぶ風景など歴史や文化、美しい瀬戸内海の自然など呉らしさを体感できる眺望景観の保全・形成

宮原地域の都市づくりの方針図



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(3) 警固屋地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

4,047 人

（総人口に占める割合：1.9%）

■地域面積

420ha

（総面積に占める割合：1.2%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・国道487号沿道において商業施設が立地するなど、一定の都市機能が立地し、日常生活を支えています。また、日用品以外の買い物や通院などの日常の行動においては、中央地域との結びつきが強くなっています。

都市基盤

- ・埋立地を除いて市街地には平坦地が少なく、家屋が密集して立地しており、それを取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。
- ・斜面市街地を始めとして、狭い道路が多く、道路環境の改善が望まれています。
- ・地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスや乗合タクシーが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。また、国道487号などによって中央・宮原地域と結ばれています。

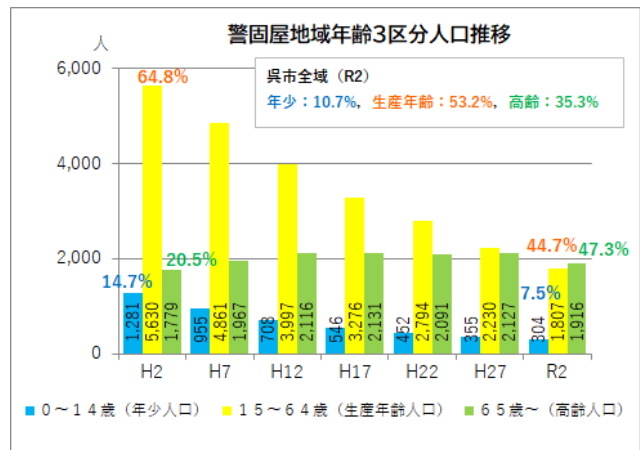
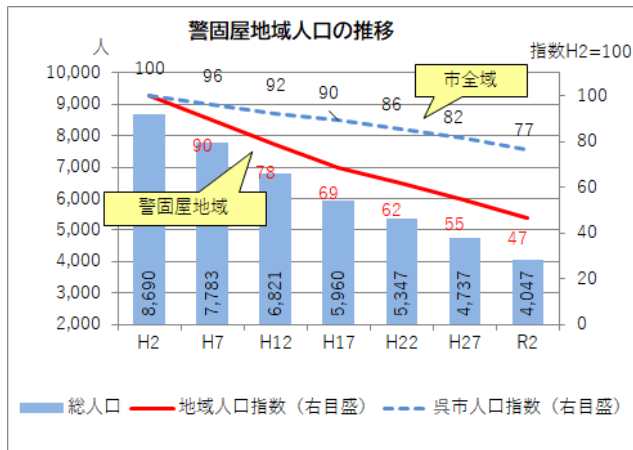
都市環境

- ・音戸大橋や第二音戸大橋が創り出すダイナミックなインフラ景観と美しい音戸の瀬戸の自然景観が保全されています。

[二つの橋りょうが並ぶ音戸の瀬戸の景観]

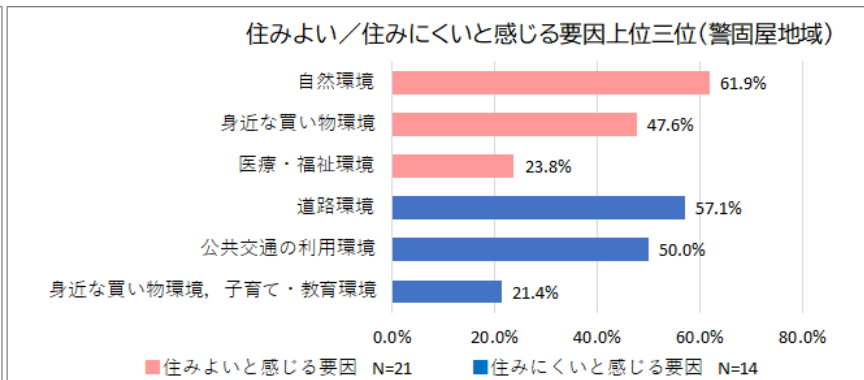
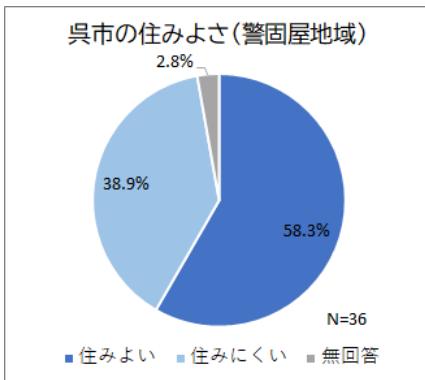


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

警固屋地域 (N=36)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	警固屋	58.3%	中央	13.9%	宮原	13.9%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	66.7%	広島市	19.4%	広	5.6%
外食	中央	61.1%	警固屋・広	5.6%	広島市・東広島市	5.6%
病気やけがの治療	中央	61.1%	警固屋	25.0%	広島市	5.6%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	38.9%	警固屋	16.7%	広島市	5.6%
娯楽・レジャー	中央	30.6%	広島市	30.6%	東広島市	5.6%
通勤・通学	中央	22.2%	警固屋	16.7%	宮原・昭和・その他	5.6%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

警固屋地域には警固屋まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災運動会や子ども避難体験事業といった防災活動に取り組むなど地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・ 地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組むとともに、地域の生活を支える都市機能の立地に向け、埋立地や幹線道路沿道などの限られた平坦地における土地利用を図る必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・ 災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制や狭あいな道路の拡幅整備など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・ 呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・ 幹線道路の沿道などの土地利用の促進
- ・ 空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・ 道路整備の推進（(主)呉環状線など）
- ・ 道路の機能強化の推進（国道487号など）
- ・ 狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・ 多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・ 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・ サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・ 都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・ 音戸の瀬戸公園の機能強化の検討

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・ 土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

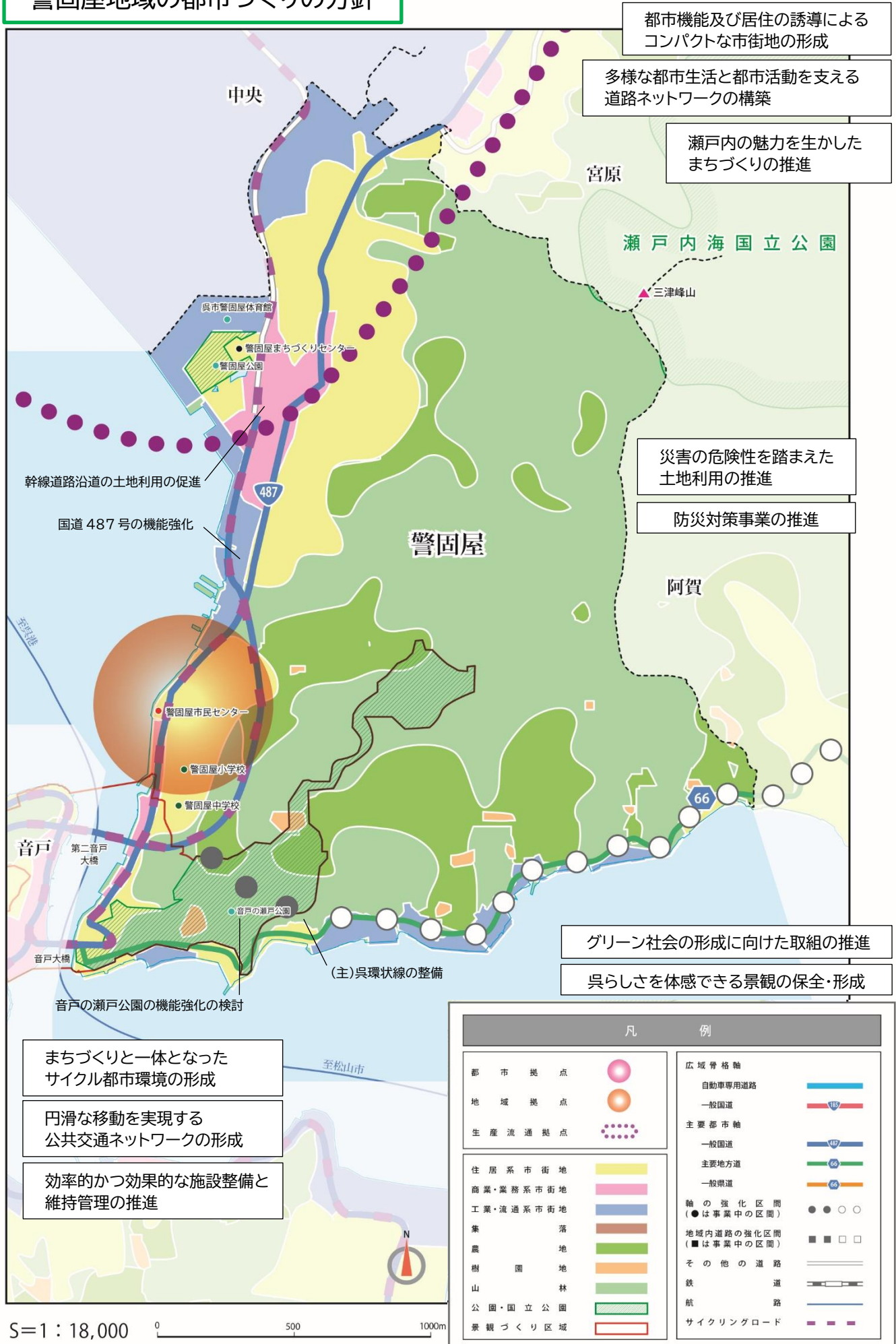
■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・ 豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・ 音戸大橋などのインフラ景観や美しい音戸の瀬戸の風景など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

警固屋地域の都市づくりの方針



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(4) 吉浦地域

■ 地域人口（令和2年国勢調査）

9,391 人

（総人口に占める割合：4.4%）

■ 地域面積

812ha

（総面積に占める割合：2.3%）



位置図

① 地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・ 日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ◆

- ・ 沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 人口は増加傾向にあった時期もありますが、近年は減少傾向にあります。また少子高齢化が進展しています。

都市生活

- ・ 一定の都市機能が立地していますが、日用品の購入や通院などの日常生活においては中央地域との結びつきが強くなっています。
- ・ 買い物・外食・娯楽・レジャーに関しては広島市や中央地域への結びつきが強く、商業・娯楽施設の環境の充実が求められています。

都市活動

- ・ 臨海部にもものづくり産業が集積し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

都市基盤

- ・ 瀬戸見町などの住宅団地を除いて、比較的なだらかな丘陵地に家屋が密集した市街地を形成しており、それを取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。
- ・ 地域には JR 吉浦駅及び JR かるが浜駅が立地しており、広域的な移動を支えています。また、地域内外を結ぶバスや乗合タクシーが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・ 国道31号によって中央地域や広島市方面と結ばれています。

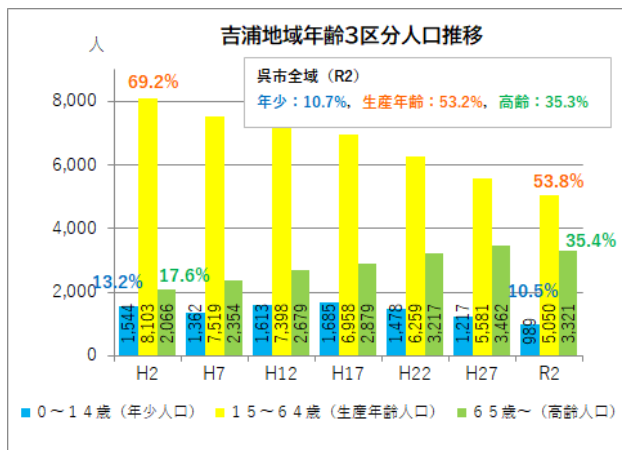
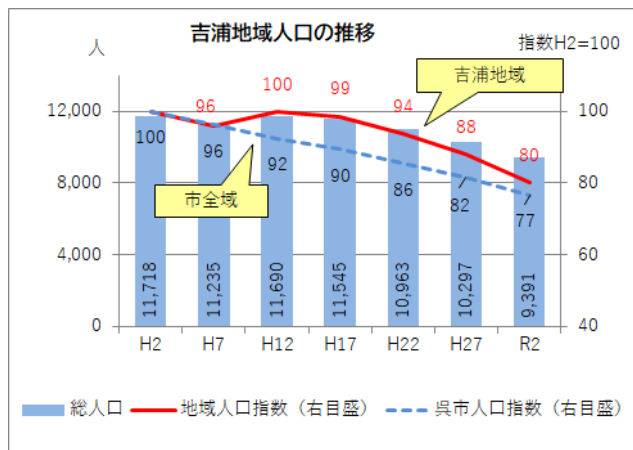
都市環境

- ・ 山地や瀬戸内海などの自然景観が広がっています。

[家屋が密集した市街地]

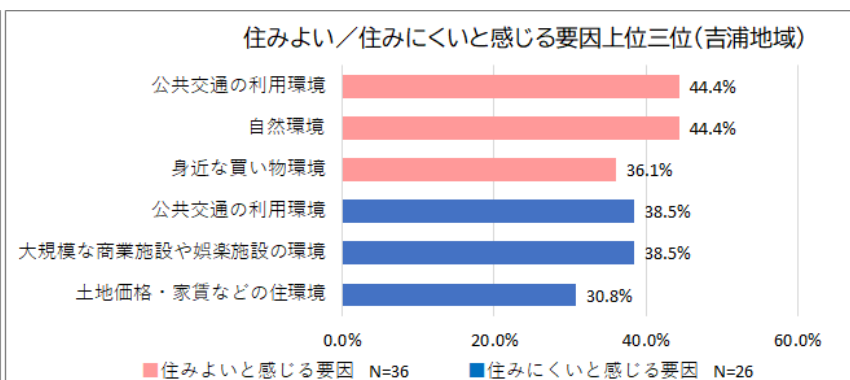
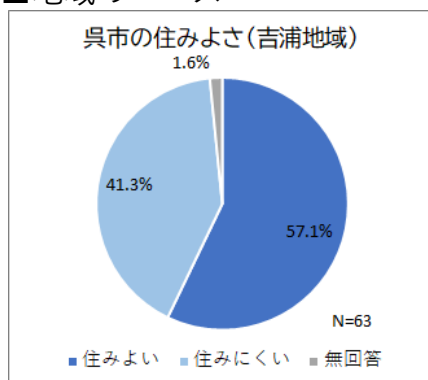


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

吉浦地域 (N=63)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	中央	54.0%	吉浦	25.4%	広島市	4.8%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	46.0%	広島市	33.3%	その他	6.3%
外食	中央	39.7%	広島市	39.7%	広	4.8%
病気やけがの治療	中央	69.8%	吉浦	15.9%	広島市	4.8%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	44.4%	広島市	14.3%	吉浦	9.5%
娯楽・レジャー	広島市	54.0%	中央	22.2%	その他	6.3%
通勤・通学	中央	34.9%	広島市	15.9%	吉浦	11.1%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

吉浦地域には吉浦まちづくり委員会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、吉浦駅周辺のユニバーサル化に向けた取組や防災活動、加えて伝統的な吉浦カニ祭りの継承活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■住宅団地の保全

- ・住宅団地のゆとりある住環境の保全

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（広島呉道路など）
- ・道路の機能強化の推進（国道31号など）
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成
- ・鉄道駅などにおけるバリアフリー整備の推進（JR 吉浦駅及びその周辺施設のバリアフリー化の推進）

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・広島呉道路などの整備促進
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

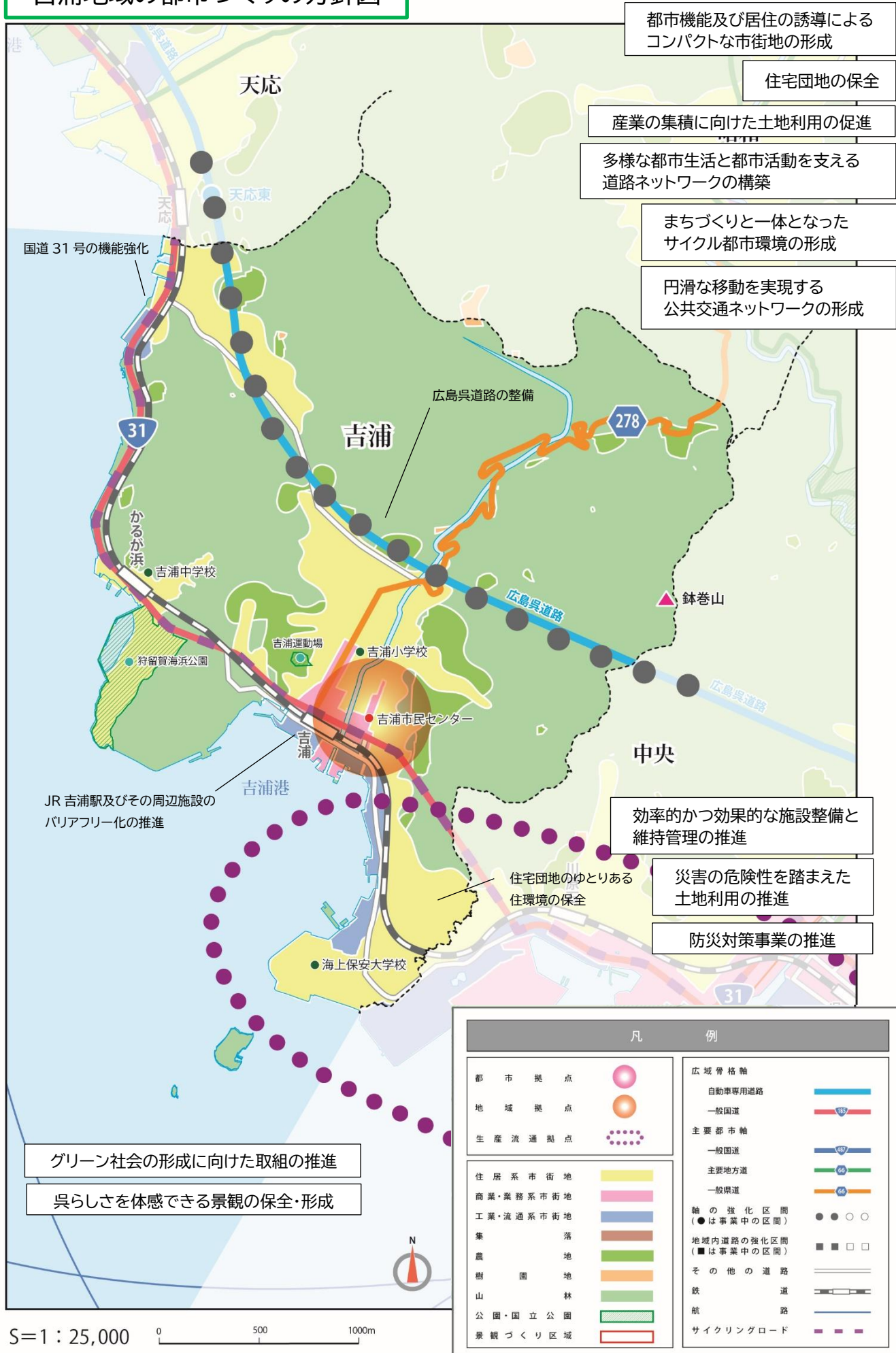
■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・美しい瀬戸内海の風景など 呉らしさを体感できる景観の保全・形成

吉浦地域の都市づくりの方針図



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(5) 天応地域

■ 地域人口（令和2年国勢調査）

3,622 人

（総人口に占める割合：1.7%）

■ 地域面積

395ha

（総面積に占める割合：1.1%）



位置図

① 地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・ 日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ☆

- ・ 沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 市全域と同様に人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展しています。

都市生活

- ・ 一定の都市機能が立地していますが、日用品の購入や通院などの日常生活においては中央地域や広島市との結びつきが強くなっています。
- ・ 地域内では生鮮食品などを取り扱う商業施設が立地しておらず、日常生活を支える身近な買い物環境の充実が求められています。

都市活動

- ・ 臨海部にものづくり産業が立地し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

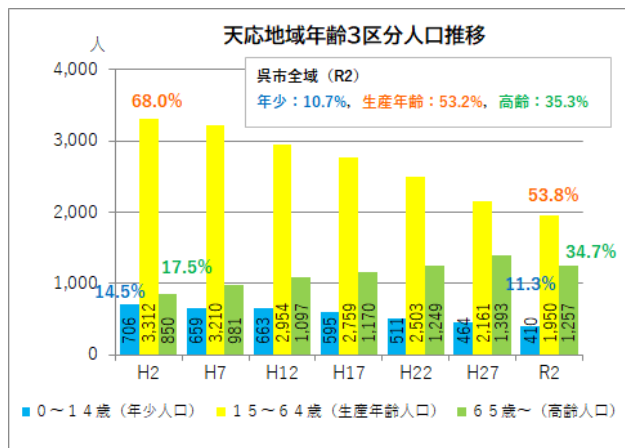
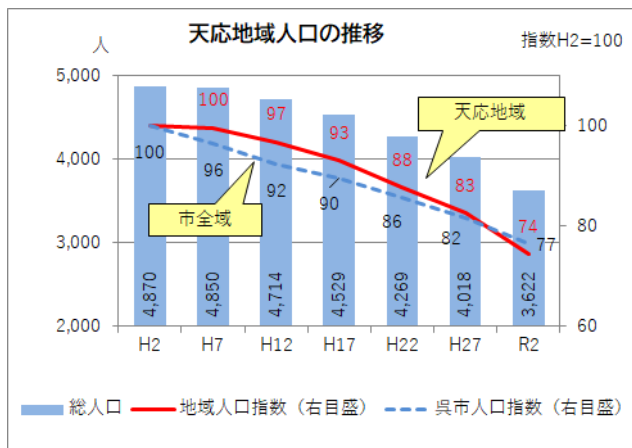
都市基盤

- ・ 市街地には平坦地が少なく、それを取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。平成30年7月豪雨災害では土石流による甚大な被害を生じており、砂防事業などの防災対策が進められています。
- ・ 地域には JR 天応駅及び JR 呉ポートピア駅が立地、また、江田島市への定期航路が就航しています。加えて、中央地域とを結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・ 国道31号によって中央地域や広島市などと結ばれており、災害に強い道路ネットワークの構築や広島市方面との連携強化に向け、広島呉道路の4車線化に取り組んでいます。
- ・ 呉ポートピアパークは、多様な世代が憩える空間が確保され、また、イベントの開催などによって、呉市内外から多くの人々が訪れています。

都市環境

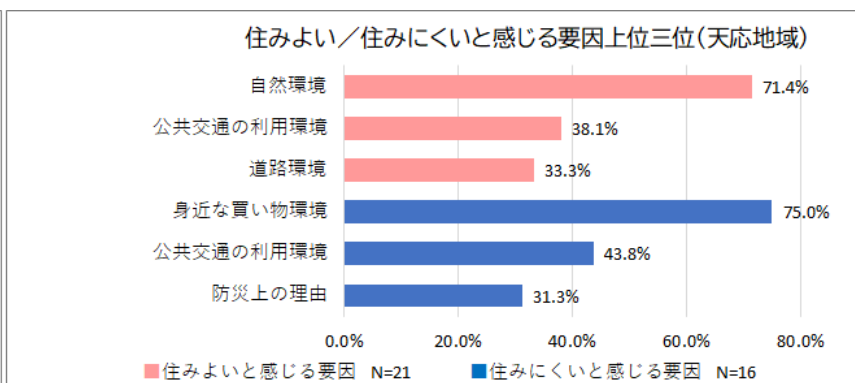
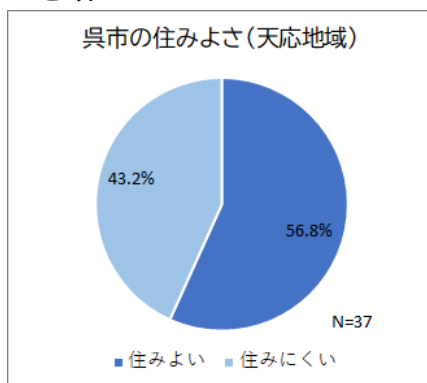
- ・ 山地や瀬戸内海などの自然景観が広がっています。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



■日常的な行動においてよく訪れる地域

天応地域 (N=37)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	中央	37.8%	吉浦	13.5%	その他	13.5%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	32.4%	広島市	32.4%	その他	21.6%
外食	広島市	45.9%	中央	29.7%	その他	10.8%
病気やけがの治療	中央	48.6%	広島市	21.6%	天応	16.2%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	24.3%	広島市	21.6%	天応	10.8%
娯楽・レジャー	広島市	51.4%	中央	8.1%	蒲刈・その他	5.4%
通勤・通学	広島市	18.9%	中央	16.2%	天応	13.5%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

[呉ポートピアパーク]



[山裾に広がる市街地]



◇地域のまちづくり活動

天応地域には天応まちづくり委員会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、地域住民による自主的なまちづくり活動が行われており、今後、子育て支援や防災減災事業などの取組について検討することとしています。

③地域の都市づくりの課題

- ・身近な買い物環境の確保など地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・防災対策事業によって、平成30年7月豪雨災害からの復興を図るとともに、災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。
- ・集客力の高い呉ポートピアパークにおいて、そのポテンシャルを生かし、雇用の創出やにぎわいと魅力の創出に向けた新たな土地利用とそれと一体となった公園機能について検討する必要があります。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

■西の玄関口の整備

- ・呉ポートピアパークの公園機能と一体となった新たな土地利用の検討

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（広島呉道路、(主)呉環状線など）
- ・道路の機能強化の推進（国道31号など）
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

■西の玄関口の整備

- ・新たな土地利用と一体となった呉ポートピアパークの公園機能の再整備の検討

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・広島呉道路などの整備の促進
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・美しい瀬戸内海の風景など 呉らしさを体感できる景観の保全・形成

101

(6) 昭和地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

31,779人

（総人口に占める割合：14.8%）

■地域面積

2,776ha

（総面積に占める割合：7.8%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域や広島市などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ◆

- ・苗代工業団地を始めとした産業集積地などにおいて、郷原インターチェンジへの近接性を生かし、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図るとともに、産業団地の造成などによって新たな活力の創出を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・地域の人口は微増傾向にありましたが、近年では緩やかな減少傾向にあります。
- ・民間事業者による新たな宅地開発などが若年層の定住に結び付いており、市平均と比較すると年少人口が比較的多い地域となっています。

都市生活

- ・地域内において日常生活を支える都市機能が集積しており、買い物などの日常生活を支えています。日用品以外の買い物や娯楽・レジャーなどに関しては、中央地域や広島市との結びつきが強くなっています。

都市活動

- ・東広島・呉自動車道の全通によって山陽自動車道へのアクセスが飛躍的に向上した苗代工業団地では、ものづくり産業が集積し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

都市基盤

- ・(主)呉平谷線や(主)呉環状線などの主要な道路を軸として、周辺に低層住居を中心とした住宅団地が広がっています。新たな住宅地の開発も僅かにありますが、多くの住宅団地は、昭和40年代に造成されており、住民の高齢化と空き家の増加が進んでいます。
- ・地域内に鉄道はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、道路整備や公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・中央地域とを結ぶ(主)呉平谷線や地域内の幹線道路となる(都)焼山押込線などの道路整備に取り組んでいます。

都市環境

- ・灰ヶ峰などの山々や二河川などの自然景観が広がっています。

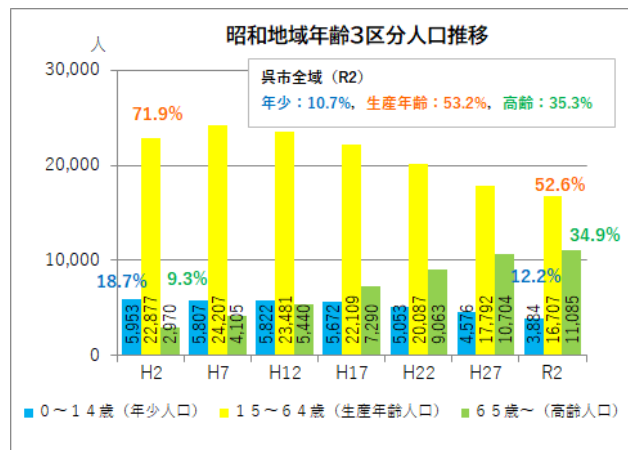
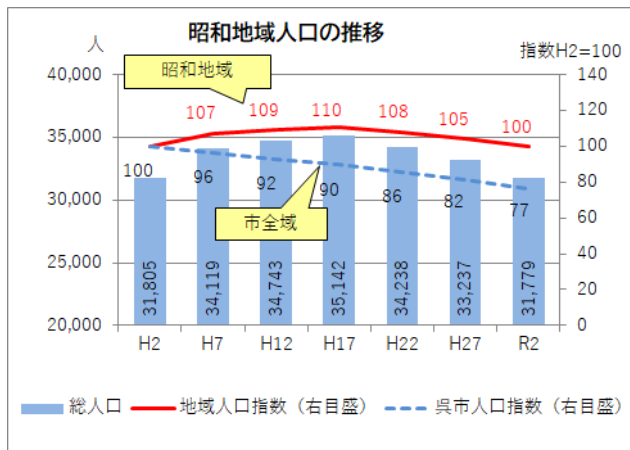
[山々と住宅団地]



[苗代工業団地]

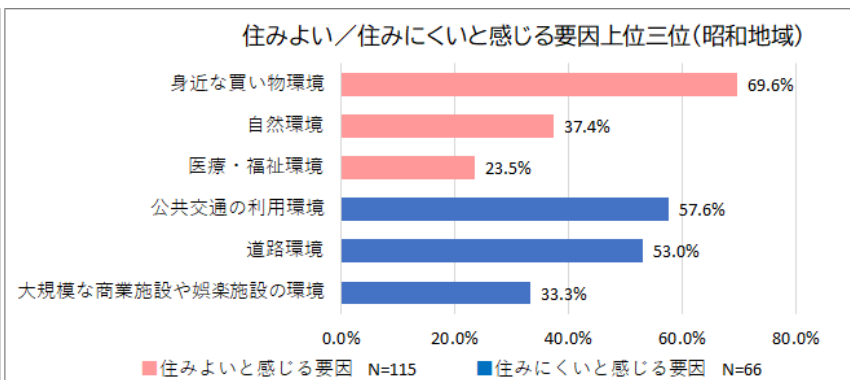
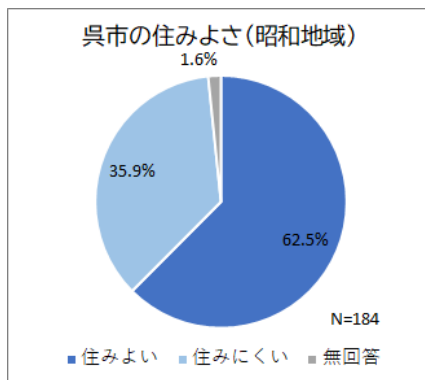


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

昭和地域 (N=184)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	昭和	83.7%	中央	4.3%	広島市	3.8%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広島市	40.8%	中央	26.1%	昭和	19.6%
外食	広島市	37.5%	中央	22.8%	昭和	18.5%
病気やけがの治療	昭和	56.5%	中央	30.4%	広島市	4.9%
文化・スポーツ活動、習い事など	昭和	36.4%	中央	22.8%	広島市	19.0%
娯楽・レジャー	広島市	49.5%	中央	12.0%	東広島市	7.6%
通勤・通学	中央	24.5%	広島市	20.1%	昭和	16.8%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

昭和地域には NPO 法人昭和地区まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動などの地域住民による自主的なまちづくり活動が行われており、今後、子育てが楽しいまちを目指した取組を進めていくこととしています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域拠点の形成に向け、都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。
- ・特に、都市基盤が一定程度整備された住宅団地においては、良好な住環境の保全に向けて取り組むとともに、居住誘導区域を中心として、定住に向けた空き家の利活用の促進などに取り組む必要があります。あわせて、居住者の利便性の向上に向け、職住が近接し、子育てしながら暮らしやすい居住環境の整備が必要です。
- ・慢性的な渋滞の解消や強靱な道路ネットワークの形成などに向け、(主) 呉平谷線や(都) 焼山押込線といった幹線道路などの整備が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・苗代工業団地の生産流通機能の維持・強化に向けた取組や新たな産業活力を創出する産業団地の検討などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■住宅団地の保全と再生

- ・住宅団地のゆとりある住環境の保全
- ・空き家の利活用や多目的利用の促進
- ・職住近接を支える利便性の高い居住環境の整備に向けた柔軟な土地利用の検討

■郷原インターチェンジ周辺の土地利用の推進

- ・既存の産業集積地の生産流通機能の維持・強化
- ・新たな産業団地の整備の検討

■集落環境の保全

- ・農業施策などと連携した集落環境の保全

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進 ((主)呉平谷線, (都)焼山押込線, (主)呉環状線, 市道焼山矢野線など)
- ・(都)苗代郷原線などの整備検討
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・(主)呉平谷線, (都)焼山押込線などの整備促進
- ・二河川水系における流域治水の推進
- ・土砂災害, 水害及び地震などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

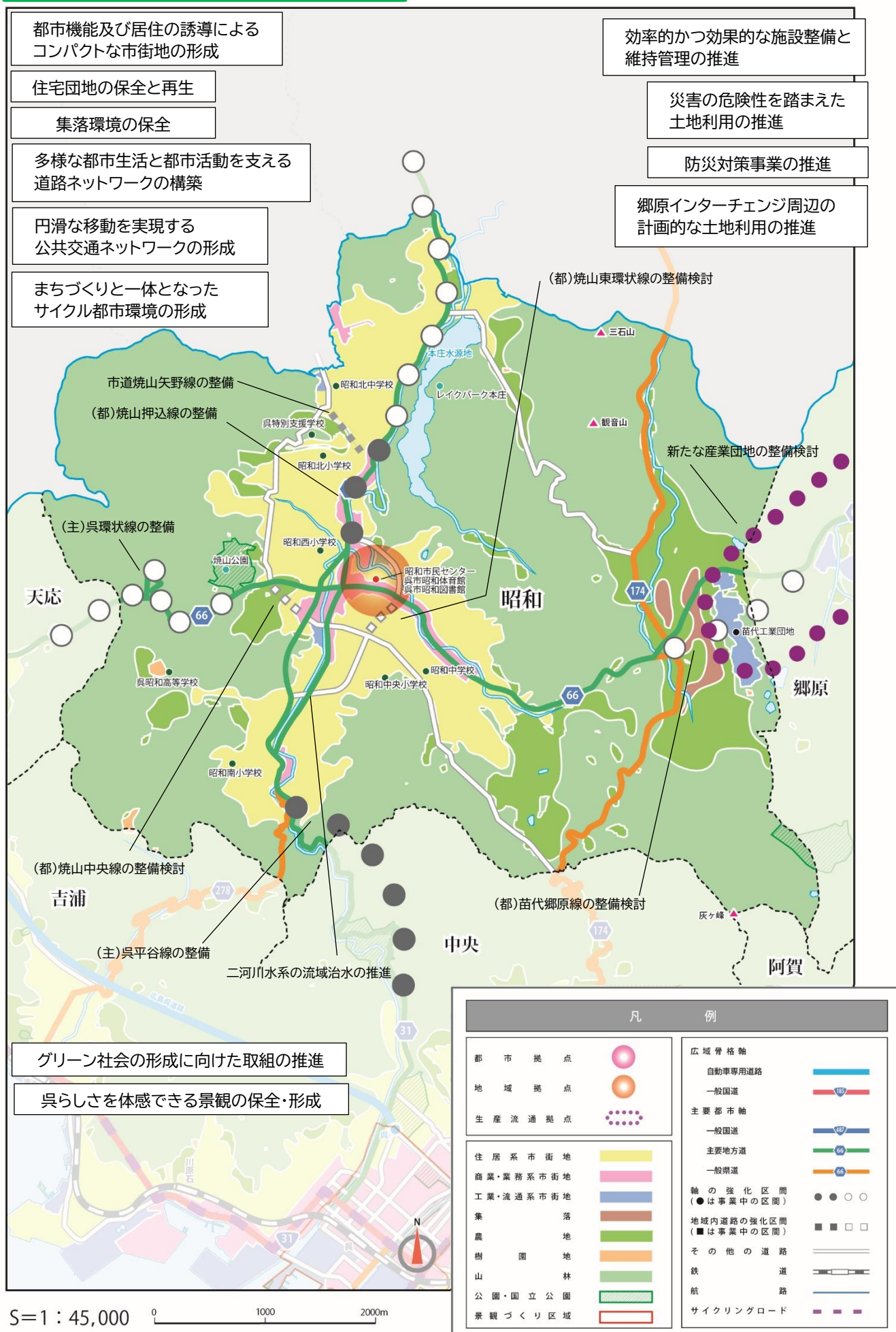
■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・二河川や灰ヶ峰などの自然環境など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

昭和地域の都市づくりの方針図



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(7) 郷原地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

4,742 人

（総人口に占める割合：2.2%）

■地域面積

2,094ha

（総面積に占める割合：5.9%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域や東広島市などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ☆

- ・郷原工業団地や桑畑工業団地を始めとした産業集積地などにおいて、郷原インターチェンジへの近接性を生かし、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図るとともに、新たな産業団地の造成などによって活力の創出を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・地域の人口は、大規模な住宅団地の造成によって大幅に増加しましたが、近年、新たな宅地造成はなく、令和2年には人口減少に転じています。
- ・住宅団地のある市街化区域の地区では若年人口の定住が多くあったため、年少人口の割合が比較的多くなっています。

都市生活

- ・行政機能を始めとした地域の主要な都市機能は市街化調整区域に立地しており、日用品の購入や通院などの日常生活においては、東広島市や広地域との結びつきが強くなっています。
- ・地域内では生鮮食品などを取り扱う商業施設が立地しておらず、日常生活を支える身近な買い物環境の充実が求められています。

都市活動

- ・郷原工業団地や桑畑工業団地などではものづくり産業が集積し、東広島・呉自動車道の全通によって山陽自動車道へのアクセスが飛躍的に向上し、活発な産業活動が行われており、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

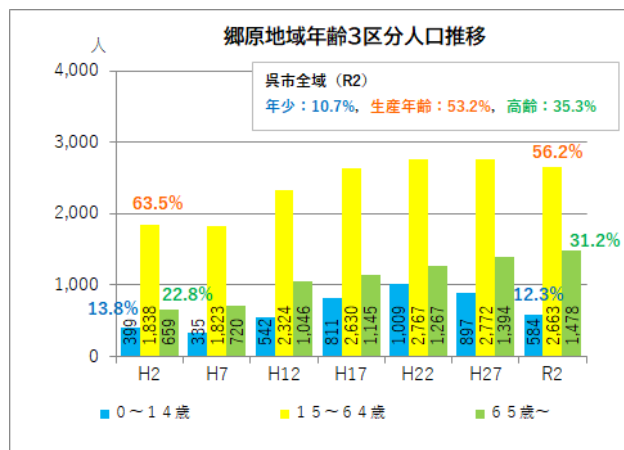
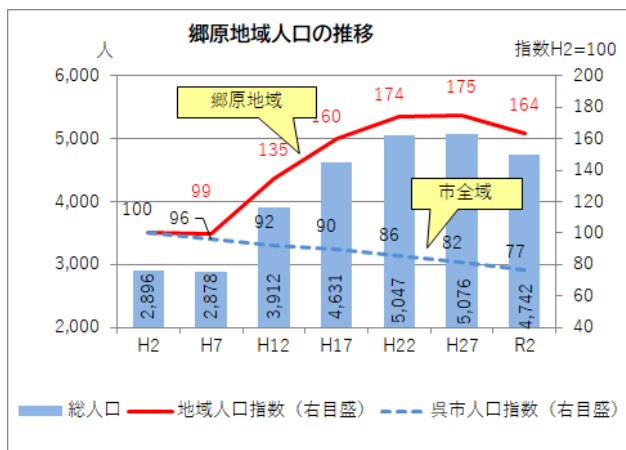
都市基盤

- ・造成された住宅団地や工業団地を除く地域の大半が市街化調整区域であり、農地の保全と調和した集落が形成されています。
- ・地域内に鉄道はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・国道375号によって広地域や東広島市と結ばれており、東広島・呉自動車道によってこれらの地域や山陽自動車道へのアクセスが飛躍的に向上しています。

都市環境

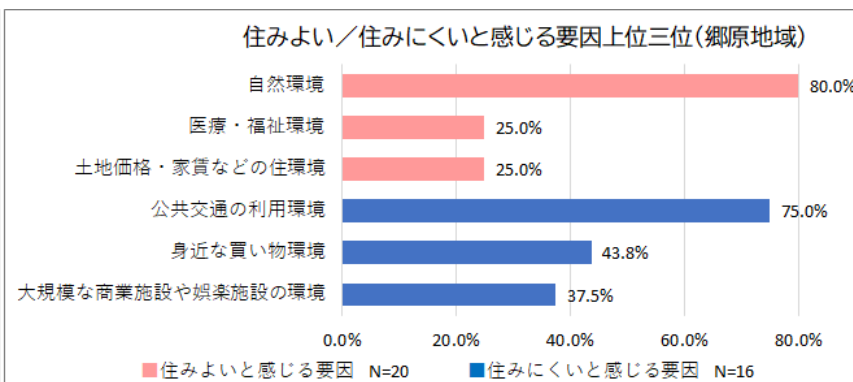
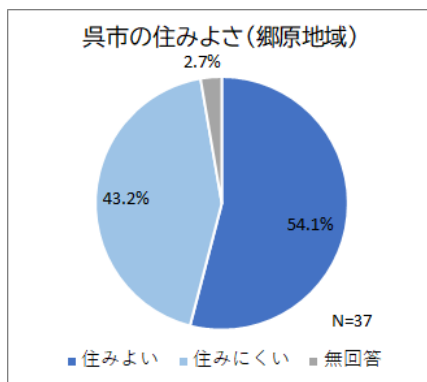
- ・農地や山々などの自然景観が広がっています。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

郷原地域 (N=37)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	東広島市	73.0%	広島市	8.1%	昭和	5.4%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	東広島市	67.6%	広島市	16.2%	広島市	10.8%
外食	東広島市	67.6%	広島市	10.8%	広島市	8.1%
病気やけがの治療	広島市	43.2%	郷原	21.6%	東広島市	21.6%
文化・スポーツ活動、習い事など	東広島市	29.7%	郷原	16.2%	広島市	10.8%
娯楽・レジャー	広島市	37.8%	東広島市	35.1%	その他	8.1%
通勤・通学	広島市	24.3%	東広島市	21.6%	郷原	13.5%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

〔郷原インターチェンジ〕



〔住宅団地（グリーンタウン郷原）〕



◇地域のまちづくり活動

郷原地域には郷原町まちづくり推進委員会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動やシバザクラの植樹による環境美化の取組など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・身近な買い物環境の確保など地域拠点の形成に向け、都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・居住誘導区域内の住宅団地においては、良好な住環境の保全に向け取り組むとともに、都市機能の維持・誘導に向け、市街化調整区域を含めた土地利用の検討が必要です。
- ・市街化調整区域における農地の保全などに取り組む、高い付加価値を生む農業を支援し、観光まちづくりなどの面で都市地域との連携を図っていく必要があります。
- ・郷原工業団地や桑畑工業団地などの生産流通機能の維持・強化に向けた取組や新たな産業活力を創出する産業団地の検討などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく居住の誘導と住宅団地の保全
- ・市街化調整区域における計画的な土地利用の誘導の方針検討
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■郷原インターチェンジ周辺の計画的な土地利用の推進

- ・既存の産業集積地の生産流通機能の維持・強化
- ・新たな産業団地の整備の検討

■集落環境の保全

- ・農業施策などと連携した集落環境の保全

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路の機能強化（東広島・呉自動車道、国道375号、（主）呉環状線など）
- ・東広島・呉自動車道の整備検討（暫定2車線区間の更なる機能の強化）
- ・（都）苗代郷原線の整備検討
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・東広島・呉自動車道の整備検討（暫定2車線区間の更なる機能の強化）
- ・黒瀬川水系における流域治水の推進
- ・土砂災害、水害及び地震などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・野呂山などの豊かな自然や農地と調和した呉らしさを体感できる景観の保全・形成

郷原地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導による
コンパクトな市街地の形成

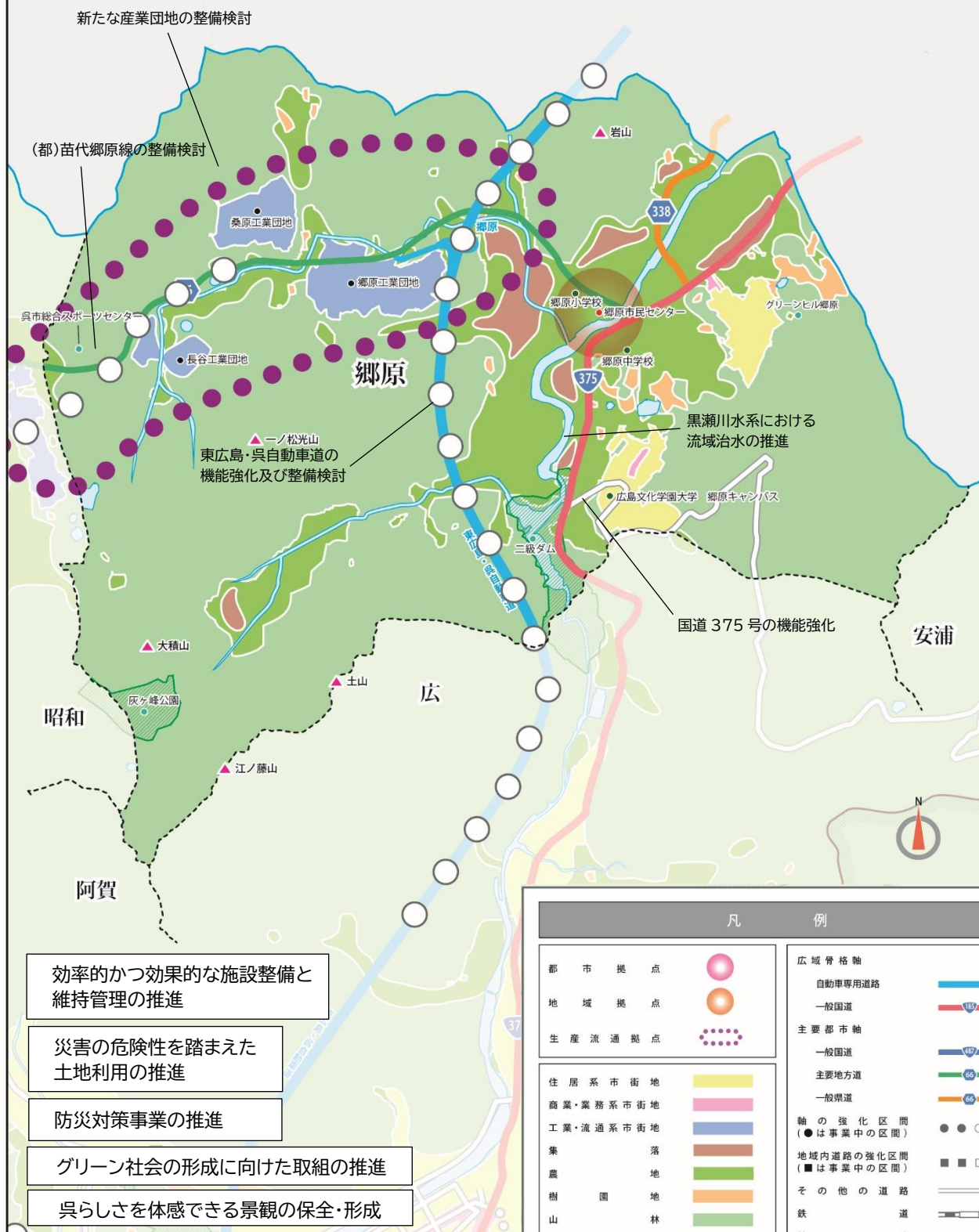
集落環境の保全

郷原インターチェンジ周辺の計画的な
土地利用の推進

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(8) 阿賀地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

15,128 人

（総人口に占める割合：7.0%）

■地域面積

1,457ha

（総面積に占める割合：4.1%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ◆

- ・阿賀マリノポリス地区において、阿賀インターチェンジへの近接性を生かし、生産・流通機能の集積によって新たな活力の創出を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展しています。

都市生活

- ・一定の都市機能が立地していますが、日用品以外の買い物などの日常生活においては中央地域や広地域との結びつきが強くなっています。
- ・娯楽やレジャーに関しては広島市への結びつきが強く、中央地域や広地域の商業・娯楽施設の環境の充実が求められています。

都市活動

- ・東広島・呉自動車道の全通によって山陽自動車道へのアクセスが飛躍的に向上した阿賀マリノポリス地区では、関連産業の集積が進んでおり、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

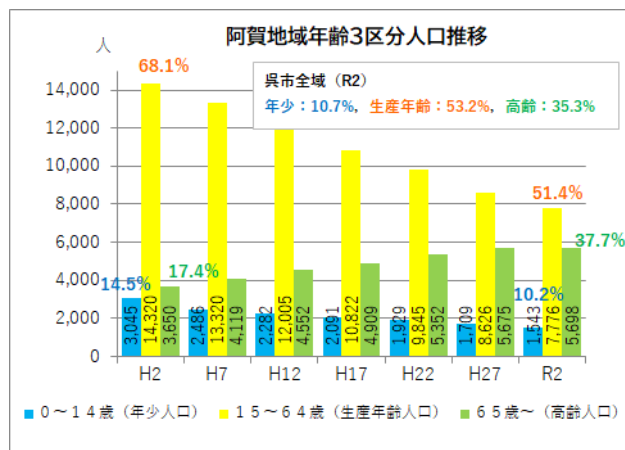
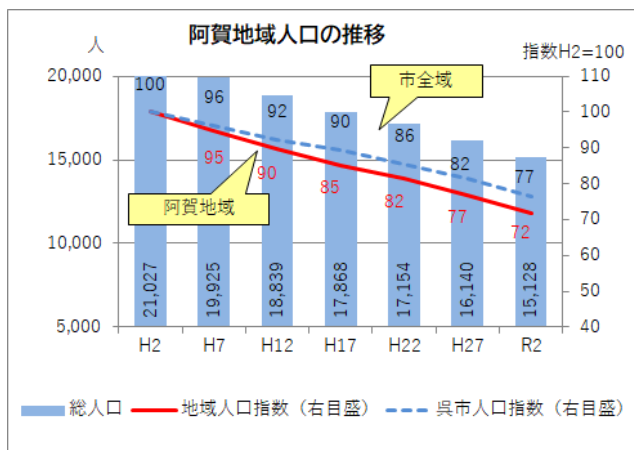
都市基盤

- ・市街地には平坦地が少なく、市街地を取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。
- ・斜面市街地を始めとして、狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれています。
- ・地域には JR 安芸阿賀駅が立地しています。また、地域内外を結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・生活航路である情島航路（阿賀～情島）が就航しています。
- ・国道185号によって中央地域や広地域と結ばれており、休山新道の4車線化によって中央地域との連携が強化されています。また、東広島・呉自動車道によって山陽自動車道へのアクセスが飛躍的に向上しています。

都市環境

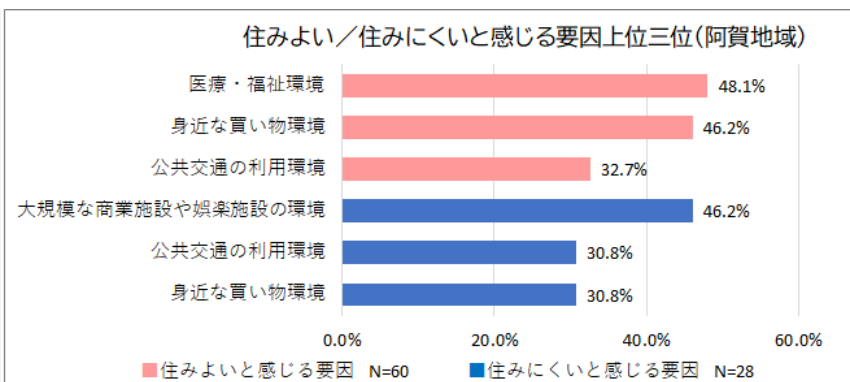
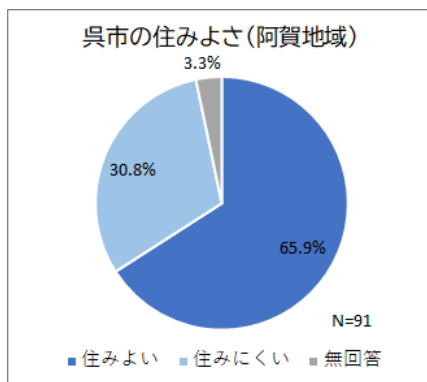
- ・休山や大空山などの山々と瀬戸内海の実然景観が広がっています。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

阿賀地域 (N=91)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	阿賀	50.5%	広	25.3%	中央	17.6%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	46.2%	広	27.5%	広島市	14.3%
外食	中央	36.3%	広	35.2%	広島市	6.6%
病気やけがの治療	阿賀	37.4%	中央	30.8%	広	18.7%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	36.3%	阿賀	16.5%	広	14.3%
娯楽・レジャー	広島市	35.2%	中央	16.5%	広	7.7%
通勤・通学	中央	20.9%	広	13.2%	阿賀・広島市	9.9%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

[阿賀マリノポリス地区]



[阿賀インターチェンジ]



◇地域のまちづくり活動

阿賀地域には阿賀まちづくり推進協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、地域内の教育機関と連携した様々な活動を行うなど地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制や狭あいな道路の拡幅整備など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・阿賀マリノポリス地区への新たな企業誘致や既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・阿賀マリノポリス地区及び既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（(主)呉環状線など）
- ・道路の機能強化の推進（東広島・呉自動車道、国道185号など）
- ・トライアングルネットワークの構築に向けた検討（広島呉道路（呉 IC～阿賀 IC 間）の整備検討）
- ・東広島・呉自動車道の整備検討（阿賀 IC 広方面及び暫定 2 車線区間の更なる機能の強化）
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■阿賀マリノポリス地区の港湾機能の強化

- ・RORO船^{※4}定期航路の誘致による新たな物流拠点の構築（阿賀マリノふ頭岸壁の整備）

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・東広島・呉自動車道の整備検討（暫定 2 車線区間の更なる機能の強化）
- ・黒瀬川水系・大谷川水系における流域治水の推進
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

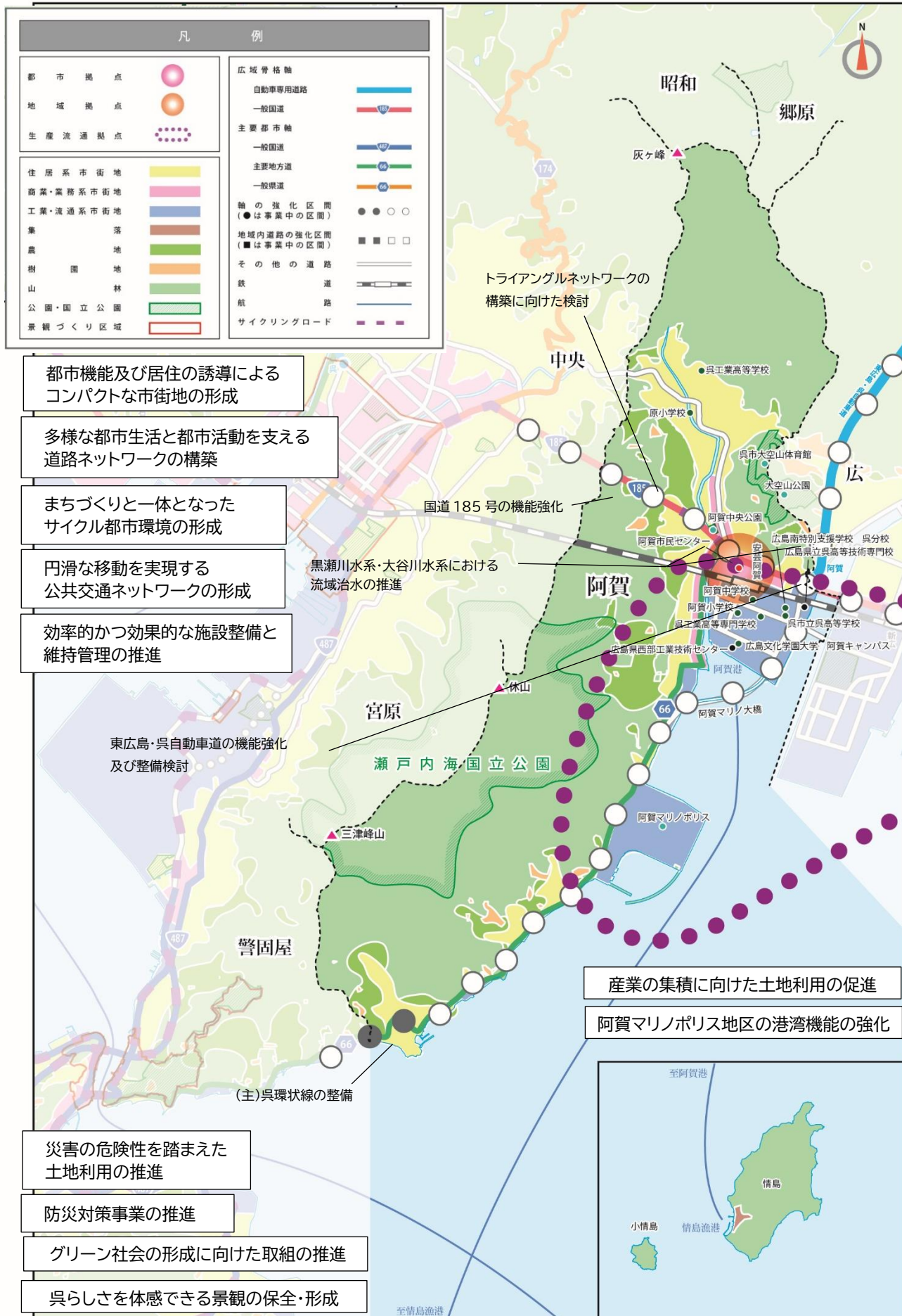
- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・美しい瀬戸内海の風景など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

※4 RORO船：ROROは、英語のROLL-ON ROLL-OFF（ロールオン・ロールオフ）の略。貨物を積んだトラックやトレーラーをそのまま運べる船。船の前後に出入口があり、トラック等が乗船（ロールオン）・下船（ロールオフ）できるようになっている。

阿賀地域の都市づくりの方針図



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(9) 広地域

■ 地域人口（令和2年国勢調査）

45,323 人

（総人口に占める割合：21.1%）

■ 地域面積

3,273ha

（総面積に占める割合：9.2%）



位置図

① 地域の役割

地域の役割

都市拠点 ●

- ・主に呉市東部区域の中核を担う地域で、多様な都市機能の集積を図ります。

生産流通拠点 ◆

- ・虹村工業団地などの沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・古新開土地区画整理事業や民間事業者による宅地造成、マンション建設などが若年層の定住に結び付いており、市平均と比較すると高齢化率は低く、年少人口は最も多い地域となっています。

都市生活

- ・広域的なサービス機能を有する多様な都市機能が集積しており、周辺地域も含め、買い物などの日常生活を支えています。

都市活動

- ・国道185号や国道375号の沿道、また、広商店街を中心として、多様な商業・業務施設が立地していますが、買い物・外食・娯楽・レジャーに関しては広島市への結びつきも強く、地域内での商業・娯楽施設の環境の充実が求められています。
- ・虹村工業団地などの沿岸部を中心としてものづくり産業が集積し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。

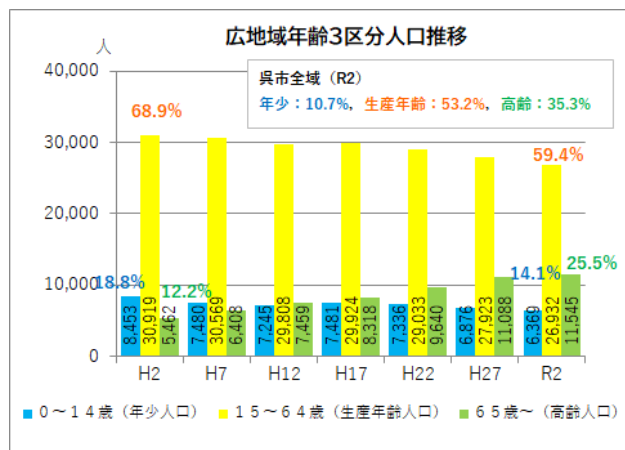
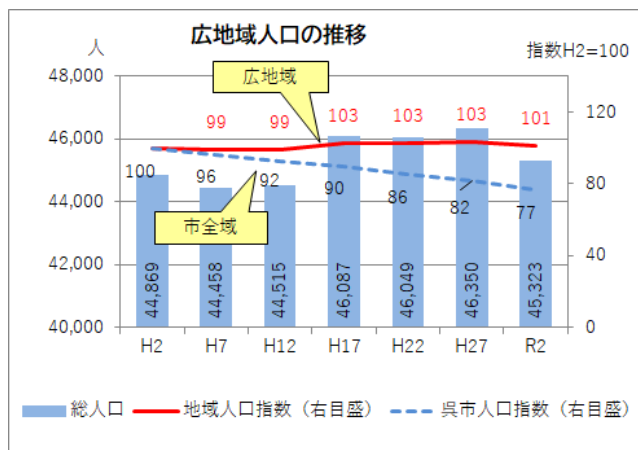
都市基盤

- ・地域にはJR新広駅及びJR広駅が立地しています。また、地域内外を結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・国道185号によって中央地域や川尻・安浦地域などと、国道375号によって郷原地域や東広島市などと結ばれています。国道185号においては、慢性的な交通渋滞が発生しており、道路環境の改善が求められています。
- ・広駅前地区においては、都市計画道路の整備や地区計画による土地利用の誘導などによって副都心としての市街地の形成を進めています。
- ・山地に近い一部の住宅地では、災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。

都市環境

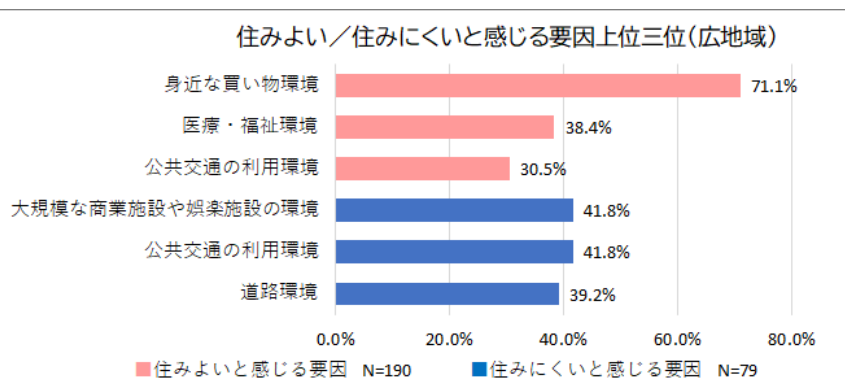
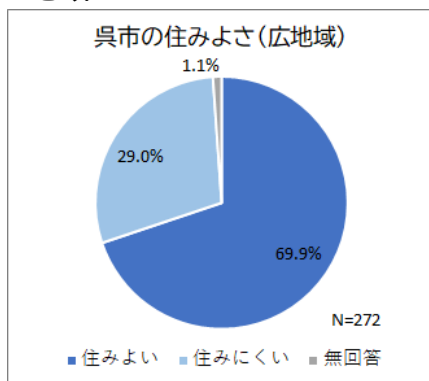
- ・野呂山などの山々や黒瀬川・瀬戸内海などの自然景観が広がっています。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

広地域 (N=272)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	86.8%	中央	2.9%	東広島市	2.9%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	43.8%	広島市	25.4%	中央	15.1%
外食	広	52.6%	広島市	16.2%	東広島市	12.5%
病気やけがの治療	広	78.3%	中央	10.7%	広島市	2.6%
文化・スポーツ活動、習い事など	広	53.3%	広島市	12.9%	中央	11.4%
娯楽・レジャー	広島市	47.4%	東広島市	11.8%	広	10.3%
通勤・通学	広	40.1%	中央	15.8%	広島市	7.4%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

〔土地区画整理事業で造成された市街地〕



〔広商店街〕



◇地域のまちづくり活動

広地域には広西北部まちづくり委員会、広東部まちづくり委員会、広南部まちづくり委員会の三つのまちづくり委員会が設置されており、それら三つのまちづくり委員会を含む広まちづくり推進協議会によって地域まちづくり計画が策定され、まちづくり拠点（ひろまちギャラリー）が整備され、様々な活動を行うなど地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・都市拠点の形成に向け、多様な都市機能の集積を図り、地域のにぎわいや魅力の向上を図るとともに、周辺地域との連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・これらの都市的サービスを支える人口の集積に向け、居住誘導区域内を中心として、必要に応じた土地の高度利用の誘導や広駅前地区の都市計画道路の整備、狭あいな道路の拡幅整備、また、災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・土地の高度利用などによるまちなか居住の誘導
- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（(一)広仁方停車場線、広駅前地区の都市計画道路など）
- ・道路の機能強化の推進（東広島・呉自動車道、国道185号、国道375号など）
- ・東広島・呉自動車道の整備検討（暫定2車線区間の更なる機能の強化）
- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進
- ・ごみ処理場の再整備の推進

エ 都市の防災・減災, 強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・東広島・呉自動車道の整備検討（暫定2車線区間の更なる機能の強化）
- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・雨水浸水対策の推進
- ・黒瀬川水系における流域治水の推進
- ・土砂災害，水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■循環型社会の実現に向けた施設整備

- ・ごみ処理場やし尿処理施設の再整備の推進

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・美しい瀬戸内海の風景など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

広地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導による
コンパクトな市街地の形成

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となった
サイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と 維持管理の推進

災害の危険性を踏まえた 土地利用の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた 取組の推進

循環型社会の実現に向けた施設整備

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

東広島・呉自動車の
機能強化及び整備検討

375 号の機能強化

瀬戸内海国立公園

黒瀬川水系における
流域治水の推進

広駅前地区の都市計画道路の整備
仁方

雨水浸水対策の推進

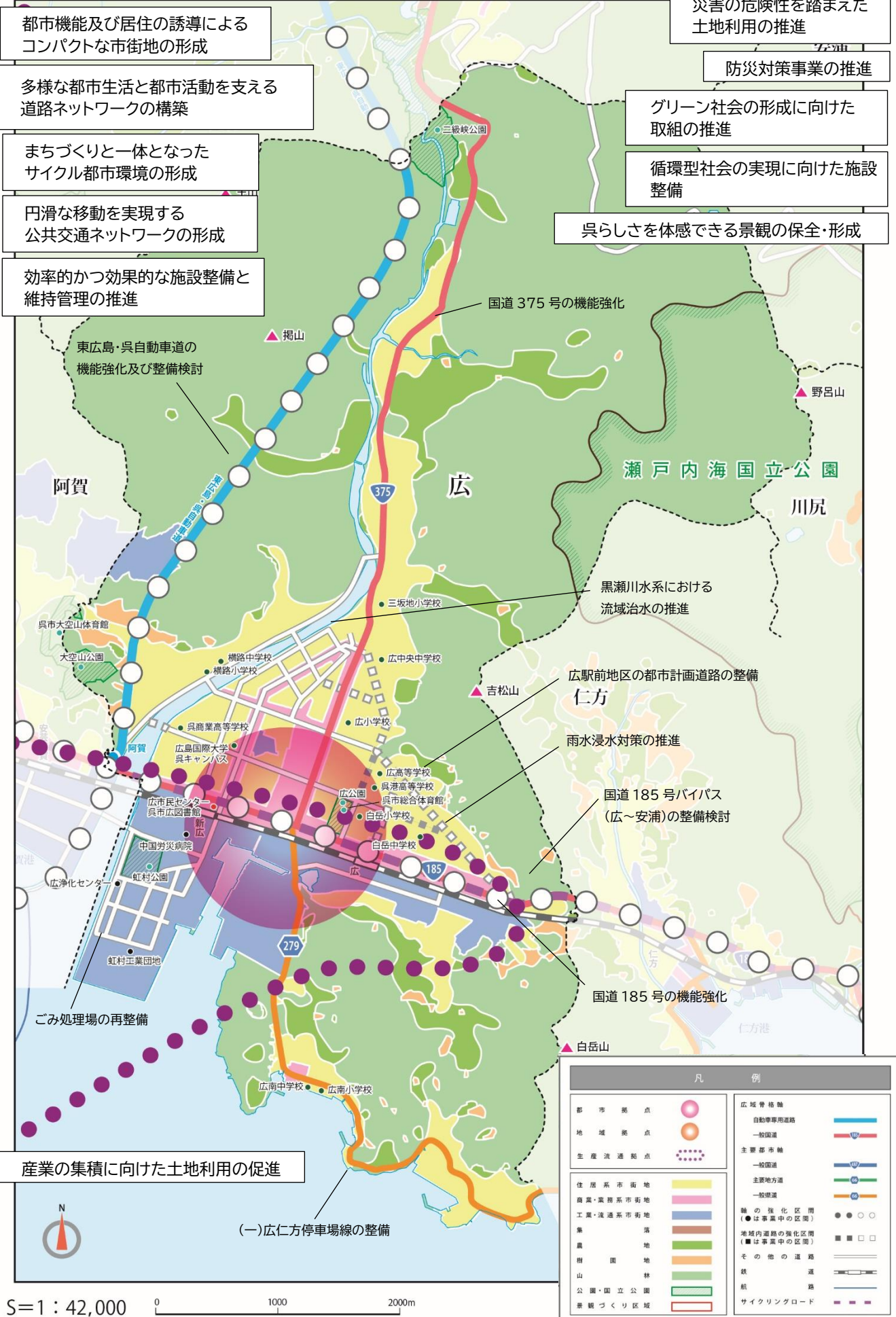
国道185号バイパス
(広～安浦)の整備検討

国道185号の機能強化

ごみ処理場の再整備

産業の集積に向けた土地利用の促進

(一) 広仁方停車場線の整備



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組めます。

(10) 仁方地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

5,839 人

（総人口に占める割合：2.7%）

■地域面積

1,051ha

（総面積に占める割合：3.0%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ◆

- ・沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化も進展しています。

都市生活

- ・一定の都市機能が立地していますが、日用品の購入や通院などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。

都市活動

- ・臨海部を中心としてものづくり産業が集積し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。
- ・仁方やすりや地酒など古くからの産業が立地しています。

都市基盤

- ・地域にはJR仁方駅が立地しています。また、地域内外を結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・国道185号によって広地域などと結ばれていますが、慢性的な交通渋滞が発生しており、道路環境の改善が求められています。
- ・市街地を取り囲む斜面地を始めとして災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。
- ・斜面地を始めとして、狭あいな道路が多く、道路環境の改善が望まれています。また、これらの区域では、更なる空き家の発生が懸念されます。

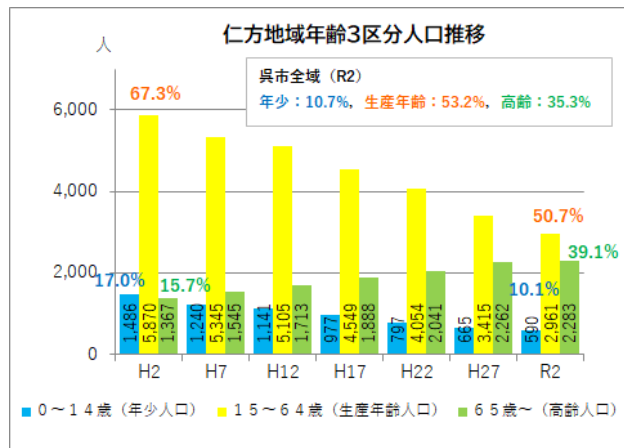
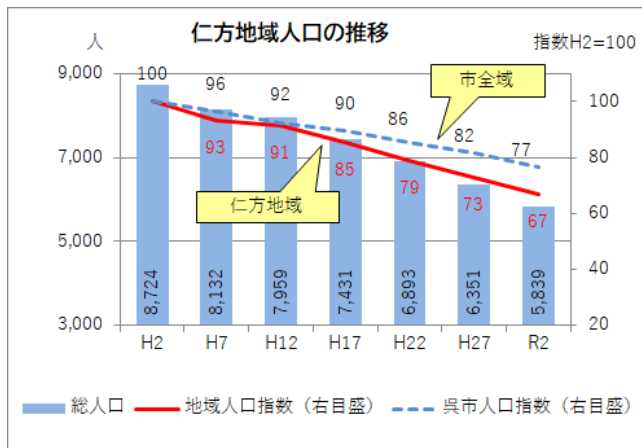
都市環境

- ・山地や瀬戸内海などの自然景観が広がっています。

[臨海部の工業団地]

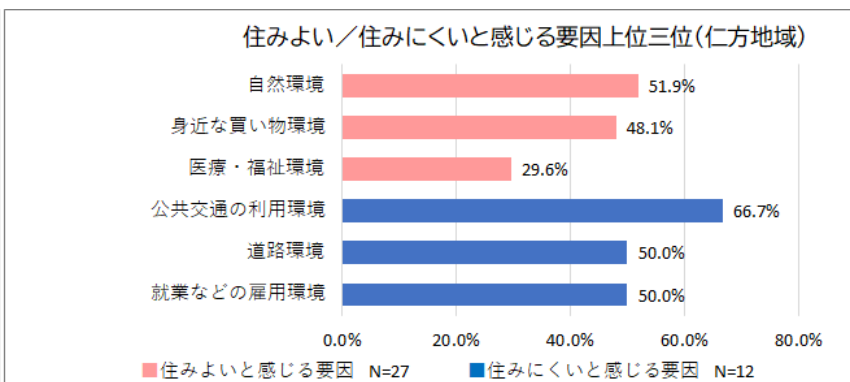
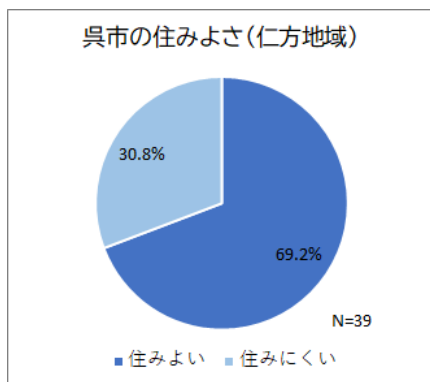


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

仁方地域 (N=39)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	74.4%	仁方	17.9%	中央・広島市	2.6%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	56.4%	中央	20.5%	広島市	15.4%
外食	広	41.0%	広島市	23.1%	東広島市	12.8%
病気やけがの治療	広	69.2%	中央	10.3%	仁方	7.7%
文化・スポーツ活動、習い事など	広	35.9%	中央	15.4%	広島市	12.8%
娯楽・レジャー	広島市	41.0%	広	23.1%	東広島市	7.7%
通勤・通学	広	20.5%	仁方	12.8%	郷原	10.3%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

仁方地域には仁方町まちづくり推進協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動や交通安全活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・ 地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・ 災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制や狭あいな道路の拡幅整備など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・ 既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・ 呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・ 空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・ 既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・ 道路の機能強化の推進（国道185号など）
- ・ 国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・ 狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・ 多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・ 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・ サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・ 都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

- ・ 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域の逆線引きの推進

■防災対策事業の推進

- ・ 国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・ 土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・ 豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・ 美しい瀬戸内海の風景など 呉らしさを体感できる景観の保全・形成

仁方地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

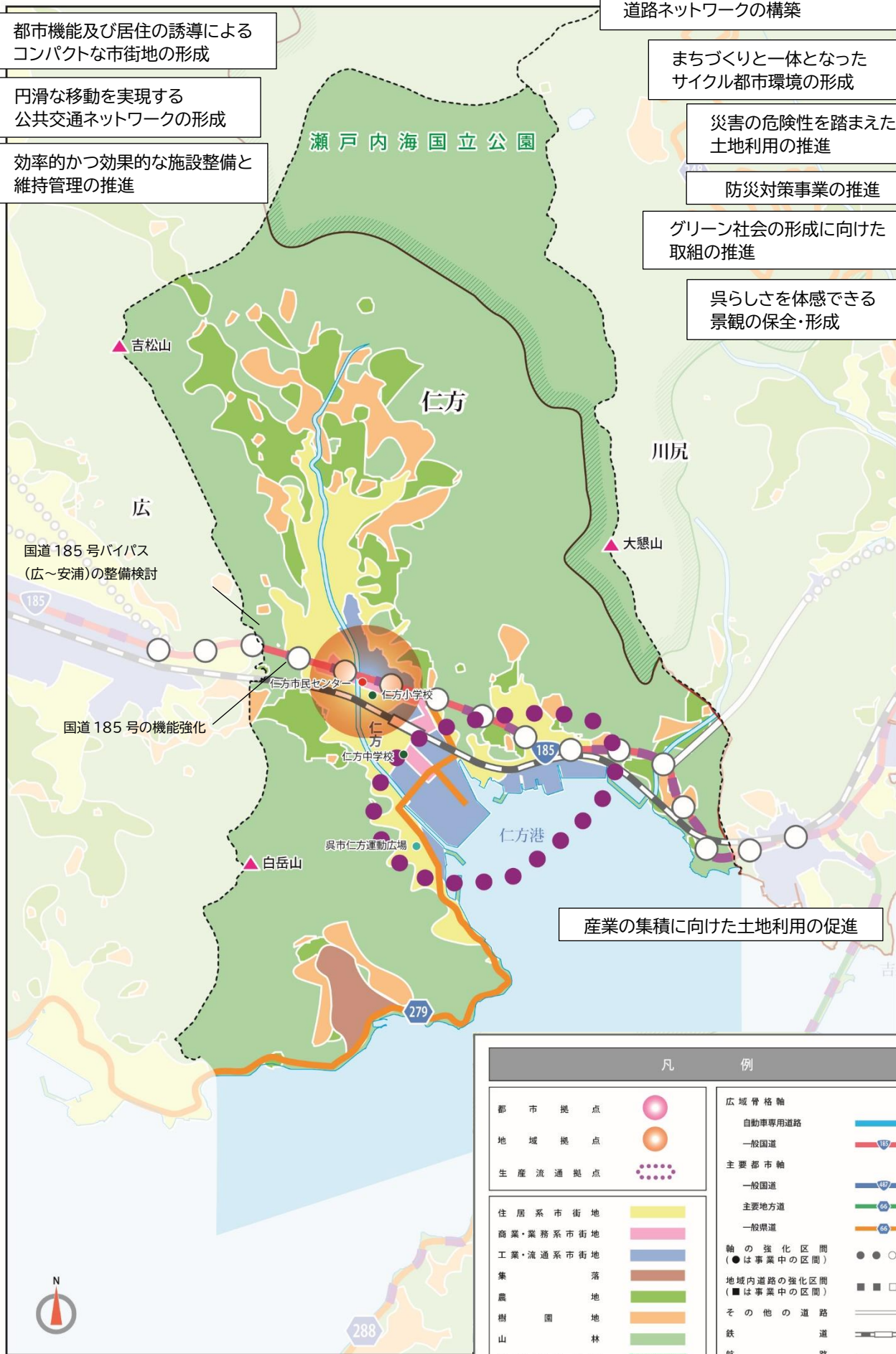
まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成



産業の集積に向けた土地利用の促進

凡 例	
都 市 拠 点	●
地 域 拠 点	○
生 産 流 通 拠 点	●●●●●
住 居 系 市 街 地	■
商 業・業 務 系 市 街 地	■
工 業・流 通 系 市 街 地	■
集 落	■
農 地	■
樹 園 地	■
山 林	■
公 園・国 立 公 園	■
景 観 づ く り 区 域	■
広 域 骨 格 軸	
自動車専用道路	—
一般国道	—
主要都市軸	—
一般国道	—
主要地方道	—
一般県道	—
軸の強化区間 (●は事業中の区間)	●●●○
地域内道路の強化区間 (■は事業中の区間)	■ ■ □ □
その他の道路	—
鉄 道	—
航 路	—
サイクリングロード	—

S=1:30,000

0 500 1000 1500m

※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(11) 川尻地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

7,796人

（総人口に占める割合：3.6%）

■地域面積

1,685ha

（総面積に占める割合：4.8%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ☆

- ・沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と同様に人口減少の割合が大きく、少子高齢化が進展しています。

都市生活

- ・地域には日常生活を支える一部の都市機能が立地していますが、日用品の購入などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。
- ・地域内に商業施設は立地していますが、日常生活を支える身近な買い物環境のさらなる充実が求められています。

都市活動

- ・沿岸部においてものづくり産業などが立地し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。
- ・瀬戸内海国立公園である野呂山に立地する関連施設では、キャンプ場や宿泊施設などが整備されており、自然環境を生かしたまちづくりを行っています。

都市基盤

- ・地域にはJR安芸川尻駅が立地しています。また、地域内外を結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・国道185号によって広地域や安浦地域などと結ばれています。また、安芸灘大橋によって下蒲刈地域と結ばれています。
- ・野呂山の麓に市街地が広がっていますが、平坦地が少なく、斜面地にも市街地が広がっており、災害リスクの高い区域内でも土地利用が行われています。

都市環境

- ・野呂山からは瀬戸内海の多島美を望む眺望景観が保全されています。

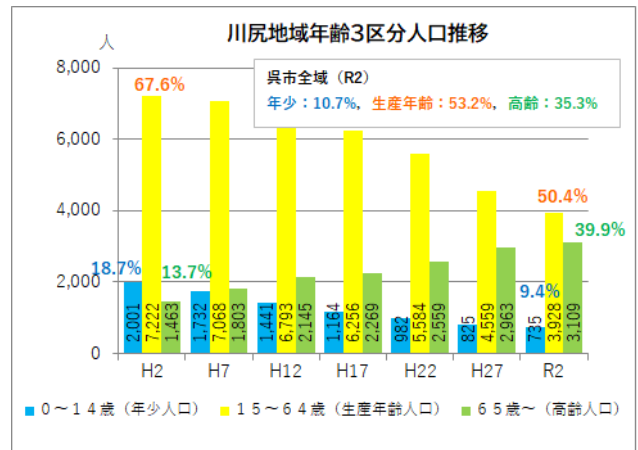
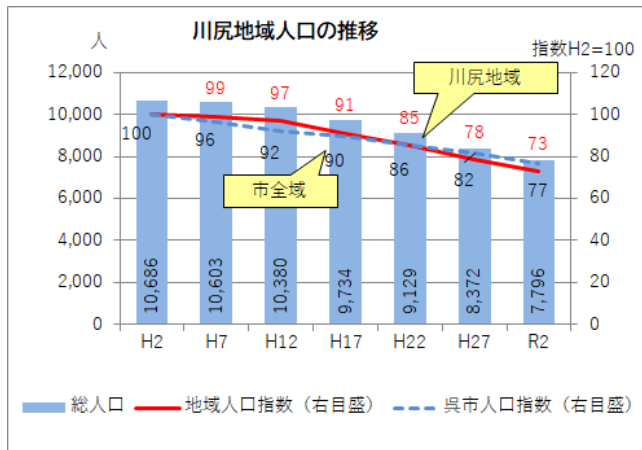
[野呂山の山裾に広がる市街地]



[野呂山キャンプ場]

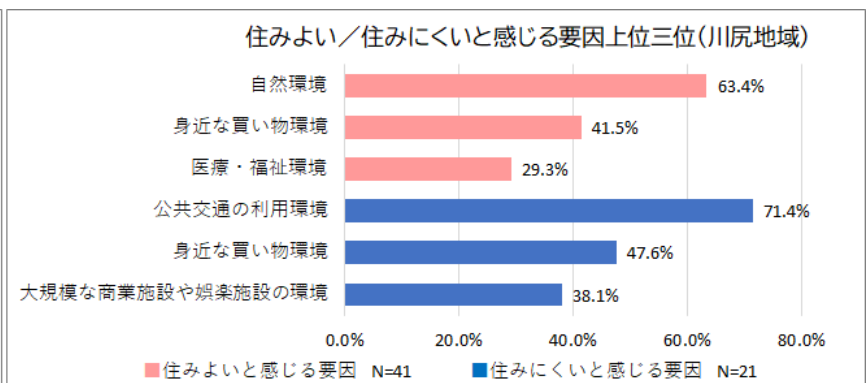
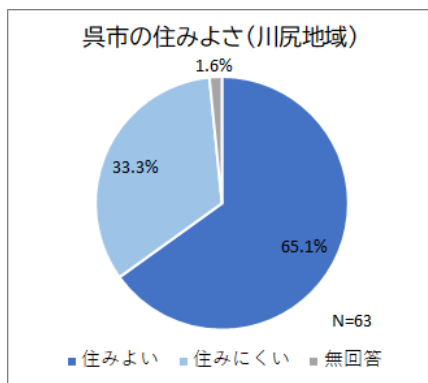


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

川尻地域 (N=63)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	39.7%	川尻	34.9%	安浦	9.5%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	60.3%	中央	11.1%	広島市・東広島市	9.5%
外食	広	39.7%	東広島市	31.7%	中央	7.9%
病気やけがの治療	川尻	46.0%	広	38.1%	中央	4.8%
文化・スポーツ活動、習い事など	川尻	25.4%	広	17.5%	広島市	12.7%
娯楽・レジャー	広島市	27.0%	東広島市	27.0%	広	7.9%
通勤・通学	広	20.6%	川尻	17.5%	東広島市	7.9%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

川尻地域には呉市川尻町まちづくり委員会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、野呂山への観光客の誘致に向けた取組や防災活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域内の買い物環境の充実など、地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・交流の促進に向け、美しい自然環境を生かした野呂山の関連施設などの既存のレクリエーション施設を活用していく必要があります。
- ・災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく都市機能及び居住の誘導
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・土砂災害特別警戒区域内の土地利用の抑制に向けた検討

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・野呂山キャンプ場などの施設の利活用の推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（市道森要垣内線、市道川尻本線1号など）
- ・道路の機能強化（国道185号など）
- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成
- ・鉄道駅などにおけるバリアフリー整備の推進（JR安芸川尻駅のバリアフリー化の推進）

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・野呂山から多島美を臨む眺望景観など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

川尻地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導による
コンパクトな市街地の形成

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

瀬戸内の魅力を生かした
まちづくりの推進

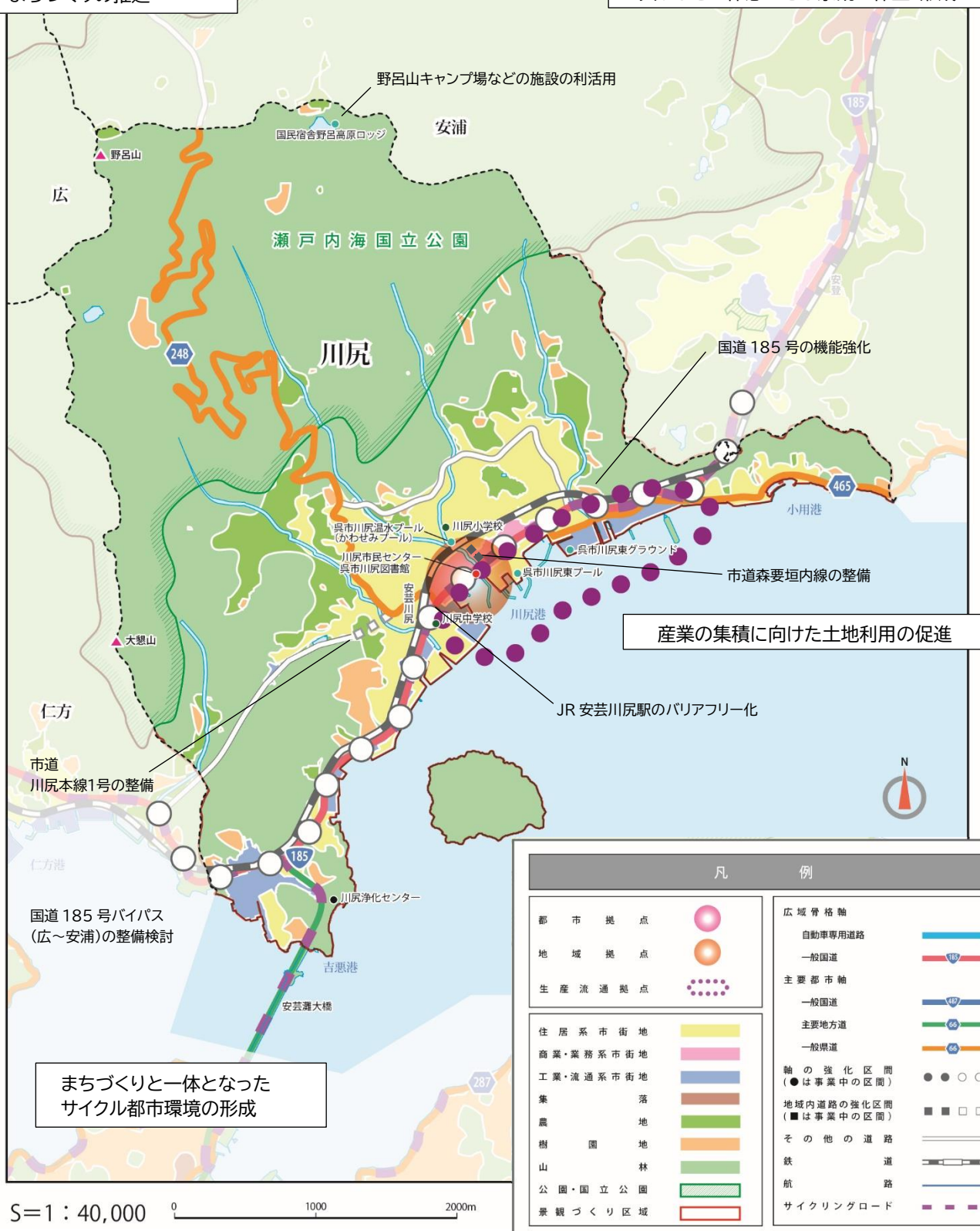
効率的かつ効果的な施設整備と
維持管理の推進

災害の危険性を踏まえた
土地利用の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(12) 安浦地域

■ 地域人口（令和2年国勢調査）

9,885人

（総人口に占める割合：4.6%）

■ 地域面積

6,354ha

（総面積に占める割合：18.0%）



① 地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・ 日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域や東広島市などとの連携強化を図ります。

生産流通拠点 ☆

- ・ 沿岸部の産業集積地において、ものづくり産業などの産業の維持・強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 市全域と同様に人口減少が進展しています。市全域と比較して高齢化率が高くなっています。

都市生活

- ・ 地域には日常生活を支える一部の都市機能が立地していますが、日用品の購入などの日常生活においては東広島市との結びつきが強くなっています。
- ・ 地域内に商業施設は立地していますが、日常生活を支える身近な買い物環境のさらなる充実が求められています。

都市活動

- ・ 臨海部においてものづくり産業などが立地し、地域を始めとした呉市の雇用を支えています。
- ・ グリーンピアせとうちでは、宿泊施設などが整備されており、自然環境を生かしたまちづくりを行っています。

都市基盤

- ・ 地域にはJR安登駅及びJR安浦駅が立地しています。また、地域内外を結ぶバスが運行しており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・ 国道185号によって広地域などと、また、(主)矢野安浦線によって東広島市と結ばれています。
- ・ 安登地区において低層住居が立ち並ぶ住宅団地が、また、安浦駅北土地区画整理事業によって鉄道駅に近接する中心地に宅地が整備されています。
- ・ 平成30年7月豪雨災害では、中畑川、野呂川の氾濫によって地域の中心地が浸水する被害が生じており、河川改良などの対策工事が進められています。

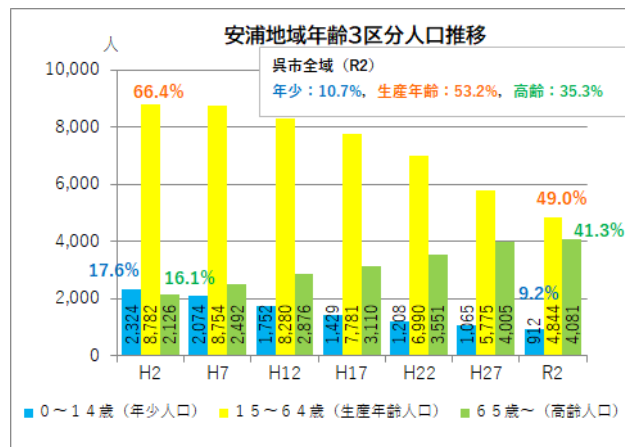
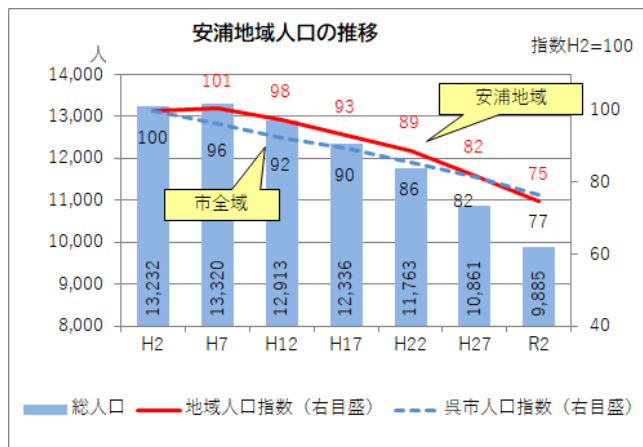
都市環境

- ・ 野呂山などの山々や瀬戸内海などの自然景観が広がっています。

[土地区画整理事業で造成された住宅地]

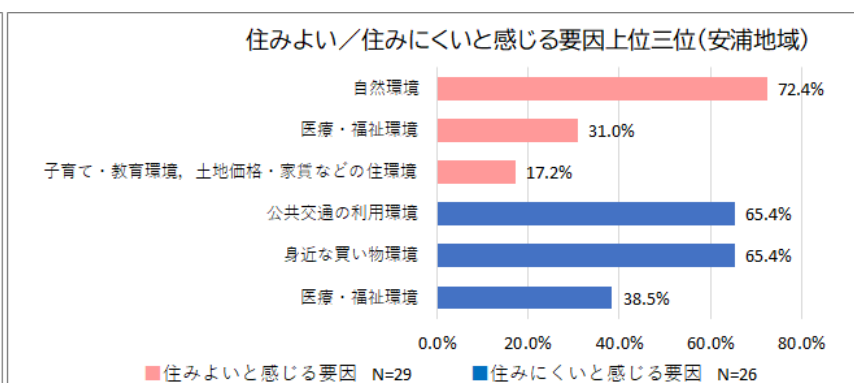
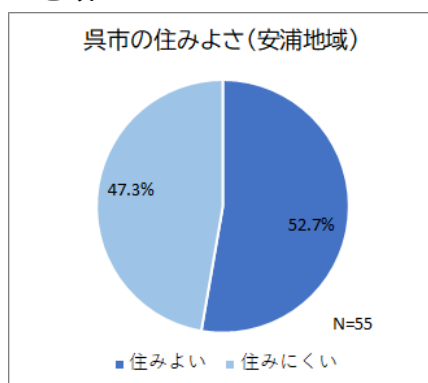


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

安浦地域 (N=55)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	東広島市	40.0%	安浦	36.4%	広	9.1%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	東広島市	70.9%	広	12.7%	広島市	9.1%
外食	東広島市	60.0%	広	18.2%	広島市	7.3%
病気やけがの治療	広	34.5%	安浦	25.5%	東広島市	16.4%
文化・スポーツ活動、習い事など	安浦	25.5%	東広島市	16.4%	広・広島市	12.7%
娯楽・レジャー	東広島市	34.5%	広島市	30.9%	広	7.3%
通勤・通学	安浦	20.0%	広	10.9%	東広島市・その他	10.9%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

安浦地域には安浦町まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、野呂山などの自然環境を生かしたまちづくりや防災活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域内の買い物環境の充実など、地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・交流の促進に向け、美しい自然環境を生かしたグリーンピアせとうちなどの既存のレクリエーション施設を活用していく必要があります。
- ・防災対策事業によって、平成30年7月豪雨災害からの復興を図るとともに、災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。
- ・既存の産業の維持・強化に向け、柔軟な土地利用や円滑な交通を確保するための都市基盤整備などが必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく居住の誘導と住宅団地の保全
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・土砂災害特別警戒区域内の土地利用の抑制に向けた検討

■産業の集積に向けた土地利用の促進

- ・既存の産業集積地における生産流通機能の維持・強化

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・グリーンピアせとうちなどの利活用の検討

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（（一）※⁵川尻安浦線など）
- ・道路の機能強化（国道185号、（主）矢野安浦線など）
- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・国道185号バイパス（広～安浦）の整備検討
- ・野呂川水系における流域治水の推進
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

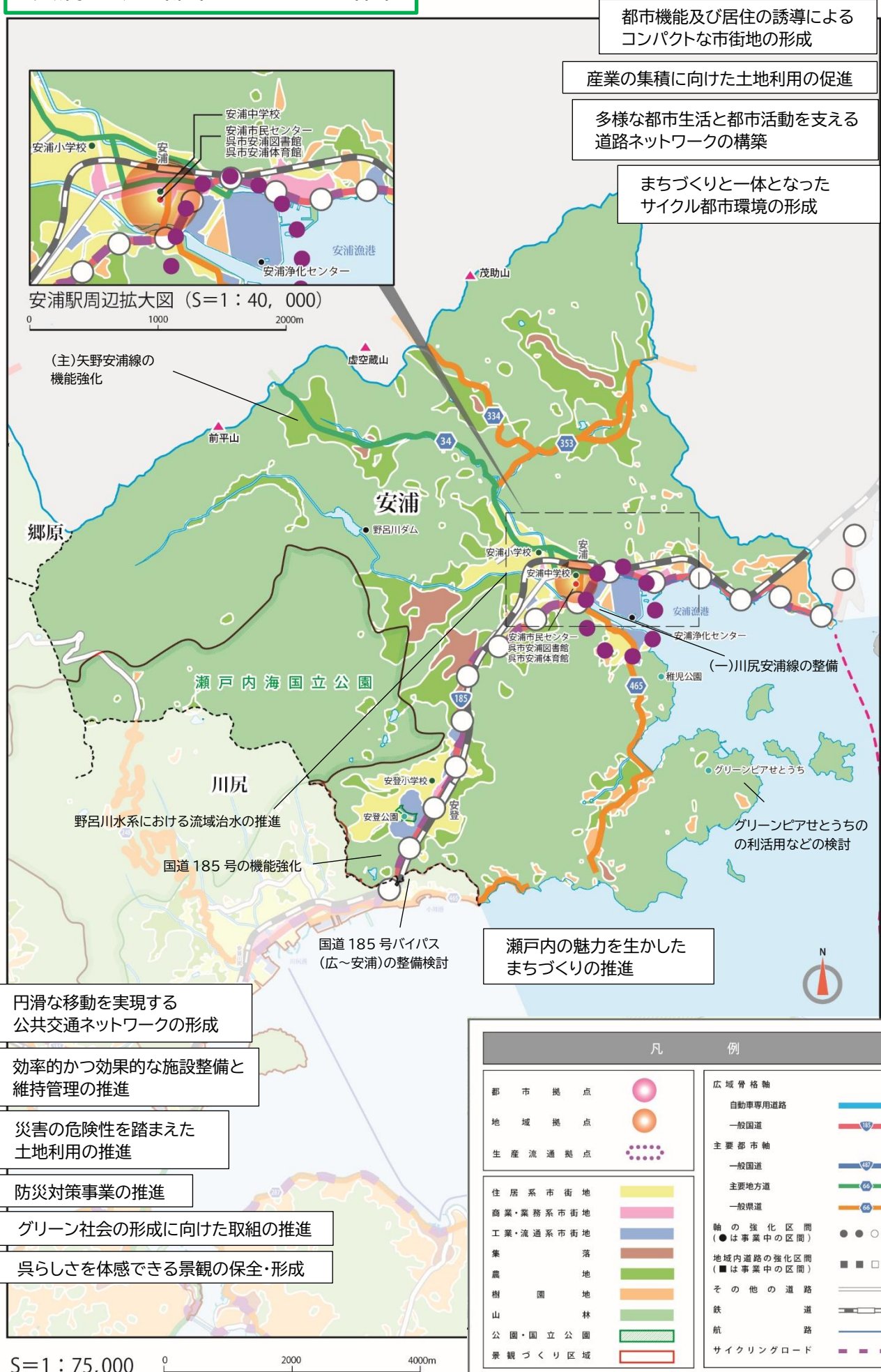
■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・美しい瀬戸内海の風景など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

安浦地域の都市づくりの方針図



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(13) 音戸地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

10,616 人

（総人口に占める割合：4.9%）

■地域面積

1,875ha

（総面積に占める割合：5.3%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・日常生活を支える都市機能の一部が立地していますが、日用品以外の買い物や通院などの日常生活においては中央地域との結びつきが強くなっています。
- ・地域内に商業施設は立地していますが、日常生活を支える身近な買い物環境のさらなる充実が求められています。

都市活動

- ・牡蠣やちりめんなどの水産加工業などが行われています。
- ・飲食・宿泊施設など文化や自然環境を生かした多様な起業が行われています。引地・鰯浜地区では、古い建築物が残る町並みを活用したまちづくりが行われています。

都市基盤

- ・地域内に鉄道はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・国道487号などによって中央地域と結ばれており、第二音戸大橋を含む警固屋音戸バイパスの整備によって中央地域方面との連携が強化されています。
- ・造成された住宅団地のほか、海岸線の道路沿いの僅かな平坦地を中心に市街地や集落を形成しています。
- ・大浦崎公園では海水浴場やキャンプ場が整備されており、多くの人が訪れています。

都市環境

- ・音戸大橋や第二音戸大橋が創り出すダイナミックなインフラ景観と美しい音戸の瀬戸の自然景観が保全されています。

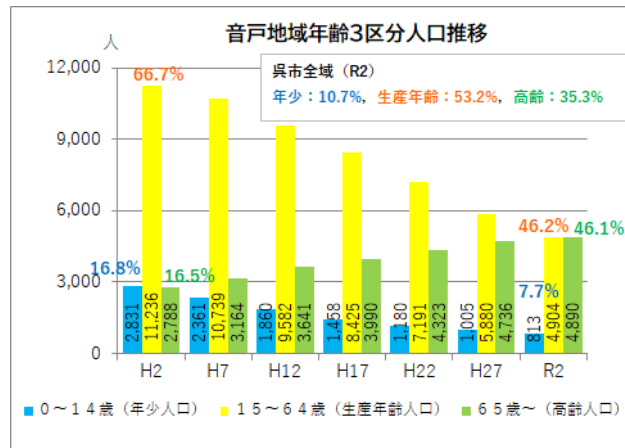
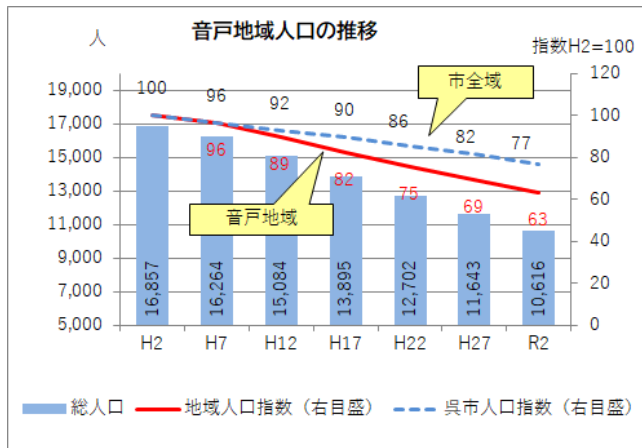
[音戸の瀬戸]



[古い建築物が残る町並み（引地地区）]

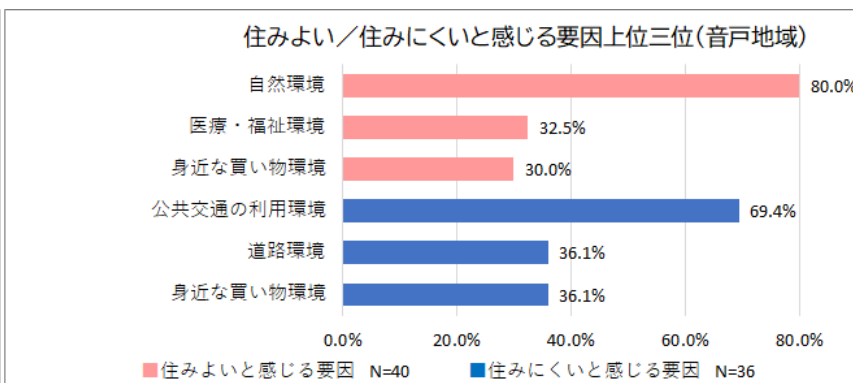
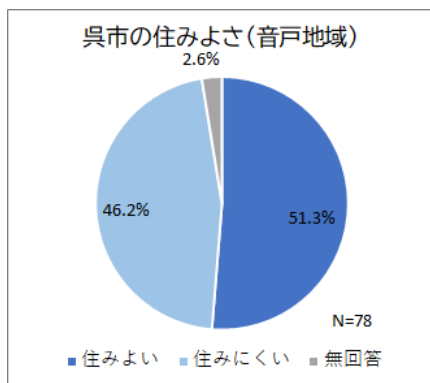


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

音戸地域 (N=78)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	音戸	50.0%	中央	15.4%	宮原	11.5%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	60.3%	広島市	14.1%	広	6.4%
外食	中央	42.3%	広島市	17.9%	広	9.0%
病気やけがの治療	中央	56.4%	音戸	16.7%	倉橋	6.4%
文化・スポーツ活動、習い事など	中央	33.3%	音戸	14.1%	広島市	10.3%
娯楽・レジャー	広島市	29.5%	中央	16.7%	東広島市	7.7%
通勤・通学	中央	23.1%	音戸	11.5%	広	7.7%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

音戸地域には音戸町まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動や清盛祭りなどの伝統行事の継承活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・地域内の買い物環境の充実など、地域拠点の形成に向けた都市機能と居住の誘導に引き続き取り組む必要があります。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域ならではの資源や環境を生かした既存施設の活用や農業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。
- ・災害リスクの高い区域の新たな土地利用の抑制など、居住誘導区域内を中心として居住環境の改善に向けた取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

- ・呉市立地適正化計画に基づく居住の誘導と住宅団地の保全
- ・空き家の利活用・多目的利用の促進やランドバンク事業などの検討
- ・必要に応じた建築物の用途の制限の検討
- ・土砂災害特別警戒区域内の土地利用の抑制に向けた検討

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・引地・鰯浜地区周辺における町並みと一体的になった空き家のリノベーションの促進
- ・ワーケーションやブレッジャーなどに対応した環境整備の促進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路の機能強化（国道487号、（主）音戸倉橋線など）
- ・南伸ルート・湾内アクセスの整備検討
- ・狭あいな道路の拡幅整備や交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・引地・鰯浜地区周辺における町並みと一体的になった道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■下水道の整備による環境保全

- ・地域に適した効率的な下水道の整備の推進

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・大浦崎公園の施設の利活用の推進

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・南伸ルート・湾内アクセスの整備検討
- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・音戸大橋などのインフラ景観や美しい音戸の瀬戸の風景など呉らしさを体感できる景観の保全・形成

音戸地域の都市づくりの方針図

都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

災害の危険性を踏まえた土地利用の推進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

防災対策事業の推進

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

下水道の整備の推進

(主)音戸倉橋線の機能強化

・町並みと一体となった空き家のリノベーションや道路整備など

呉市渡子多目的グラウンド
音戸北部浄化センター

坪井コミュニティ広場
第二音戸大橋
音戸大橋
音戸の瀬戸

音戸漁港
音戸市民センター
呉市音戸図書館

呉市音戸プール
音戸小学校

音戸中学校
南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

音戸倉橋線

音戸港

音戸大橋

音戸の瀬戸

音戸漁港

音戸市民センター

呉市音戸図書館

音戸小学校

音戸中学校

南伸ルート・湾内アクセスの整備検討

古観音山

波多見港

大浦崎公園

広島県水産海洋技術センター

大浦咲公園の利活用の推進

国道487号の機能強化

奥の内港

倉橋

明徳中学校

早瀬大橋

田原漁港

釣土田港

長谷漁港

警固屋

音戸

(14) 倉橋地域

- 地域人口（令和2年国勢調査）
4,676人
（総人口に占める割合：2.2%）
- 地域面積
5,446ha
（総面積に占める割合：15.4%）



① 地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・ 日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、中央地域などとの連携強化を図ります。

② 地域の概況と特性

人口動向

- ・ 市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・ 日常生活を支える都市機能の一部が立地していますが、日用品以外の買い物や通院などの日常生活においては中央地域との結びつきが強くなっています。

都市活動

- ・ 柑橘、トマトなどの生産を始めとして、農水産業が営まれています。
- ・ 飲食・宿泊施設やレジャー施設の整備など文化や自然環境を生かした多様な起業が行われています。

都市基盤

- ・ 地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・ (主)音戸倉橋線によって音戸地域と結ばれています。また、藤脇・釣士田バイパスの整備によって、音戸地域方面への連携が強化されていますが、さらなる道路整備が望まれています。
- ・ 海岸線の道路沿いの僅かな平坦地を中心に集落を形成しています。
- ・ 桂浜海水浴場や温泉館などが整備されており、多くの人が訪れています。

都市環境

- ・ 火山や瀬戸内海などの美しい自然景観が広がっています。

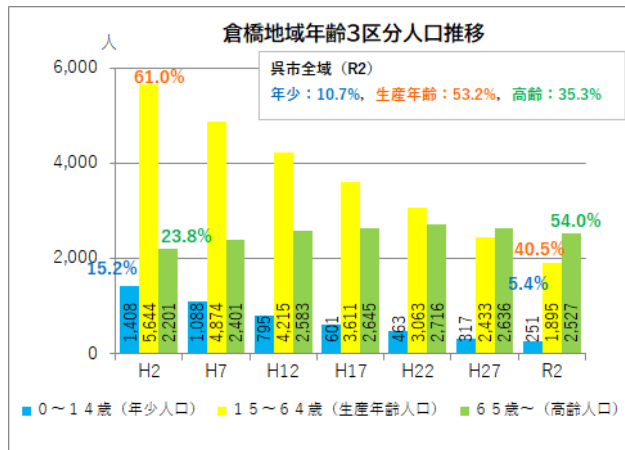
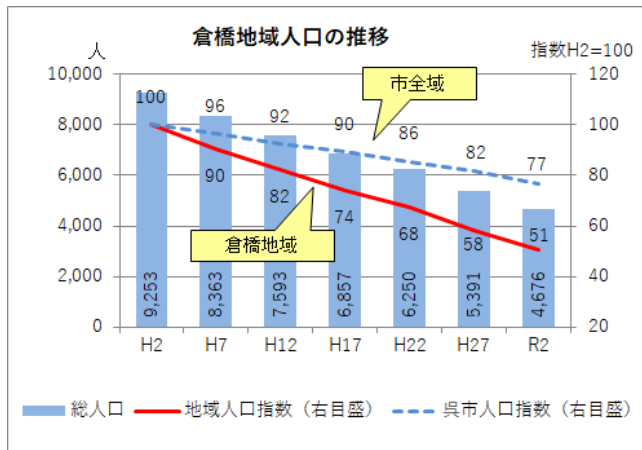
[桂浜海水浴場]



[お宝トマト]

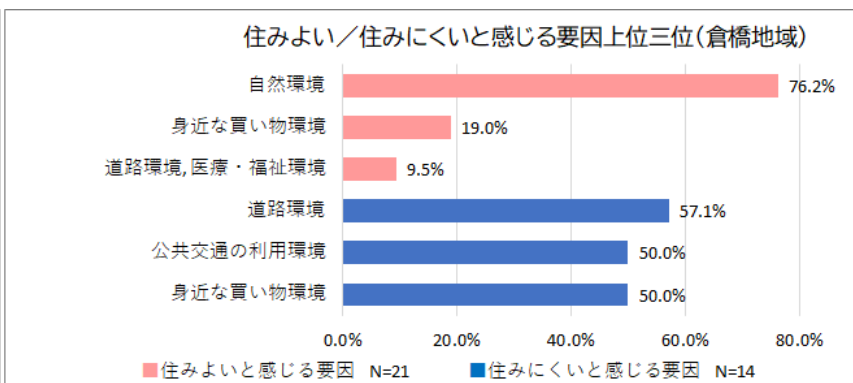
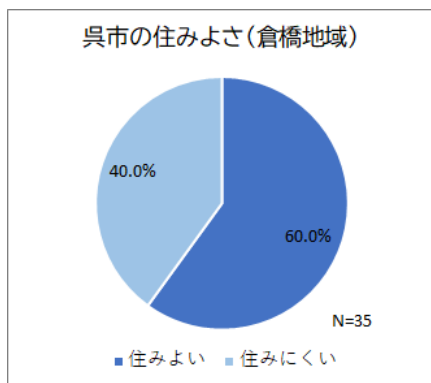


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

倉橋地域 (N=35)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	倉橋	62.9%	広	11.4%	中央	8.6%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	中央	57.1%	その他	11.4%	広	8.6%
外食	中央	57.1%	広	11.4%	広島市	8.6%
病気やけがの治療	中央	45.7%	倉橋	28.6%	音戸・広島市	5.7%
文化・スポーツ活動, 習い事など	倉橋	25.7%	中央	20.0%	広島市	8.6%
娯楽・レジャー	広島市	28.6%	中央	20.0%	倉橋	11.4%
通勤・通学	倉橋	25.7%	中央	8.6%	音戸	8.6%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

倉橋地域には宝島くらはしまちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、交流拠点の整備に向けた検討やアクアスロンなどの自然環境を生かしたスポーツ大会の開催など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・既存の集落環境の保全を図るとともに、身近な買い物環境や交通サービスの確保など、地域拠点の形成に向けた検討が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域資源を生かした既存施設の活用や農水産業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

- ・地域との協働や関連施策と連携した拠点形成の検討
- ・農水産業施策などと連携した集落環境の保全

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・空き家の多目的利用とそれと連動した起業・創業支援の推進
- ・ワーケーションやブレジャーなどに対応した環境整備の促進
- ・桂浜海水浴場周辺の多様な施設の利活用の推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（(主)音戸倉橋線, (一)中大迫清田線, (一)倉橋大向釣土田線など）
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■下水道の整備による環境保全

- ・地域に適した効率的な下水道の整備の推進

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災, 強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・土砂災害, 水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進
- ・災害リスクの周知による住環境の安全確保

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・桂浜を始めとした瀬戸内海の美しい景観の保全・形成

倉橋地域の都市づくりの方針図

地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した
土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かした
まちづくりの推進

まちづくりと一体となった
サイクル都市環境の形成

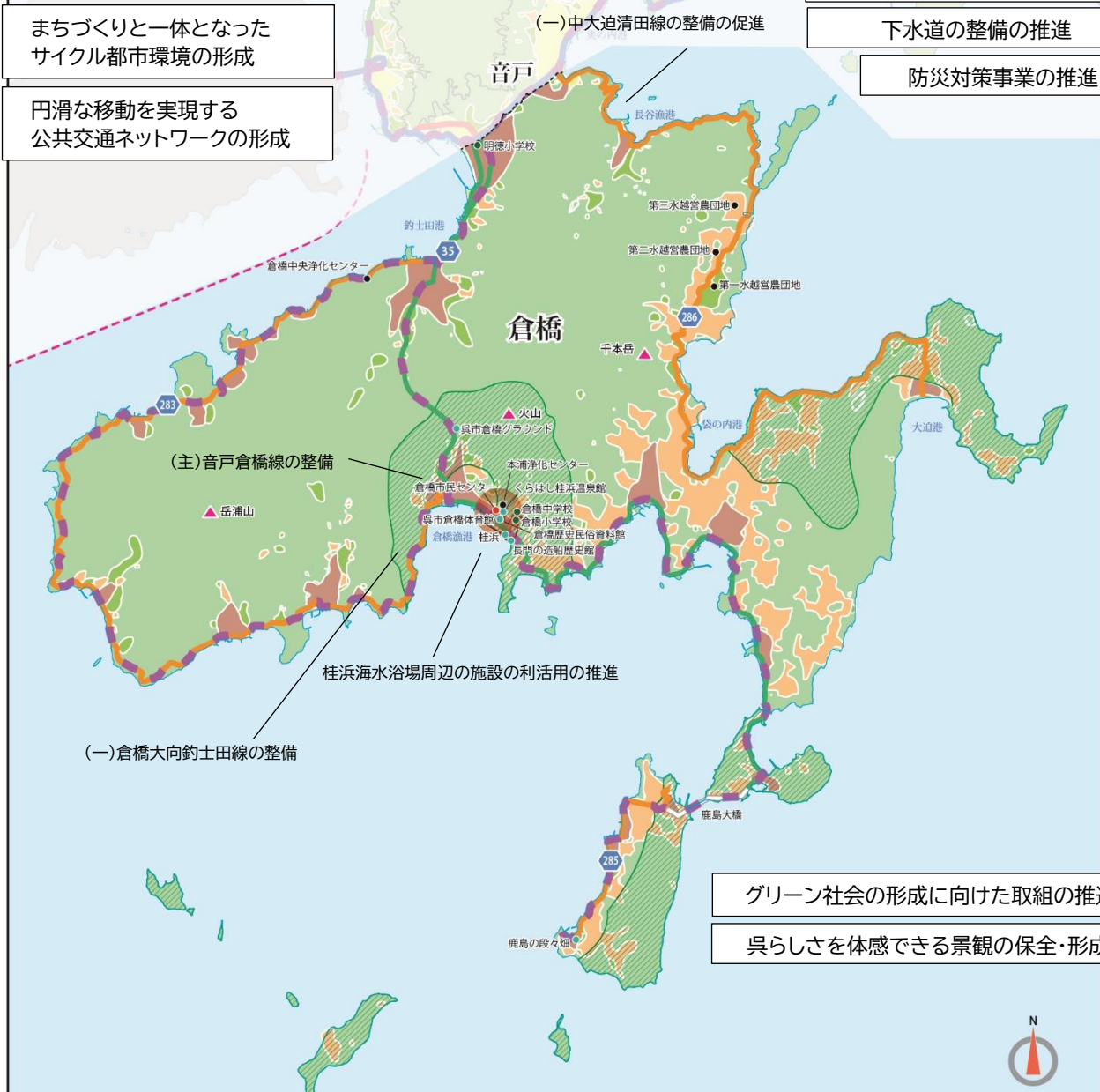
円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

効率的かつ効果的な施設整備と
維持管理の推進

下水道の整備の推進

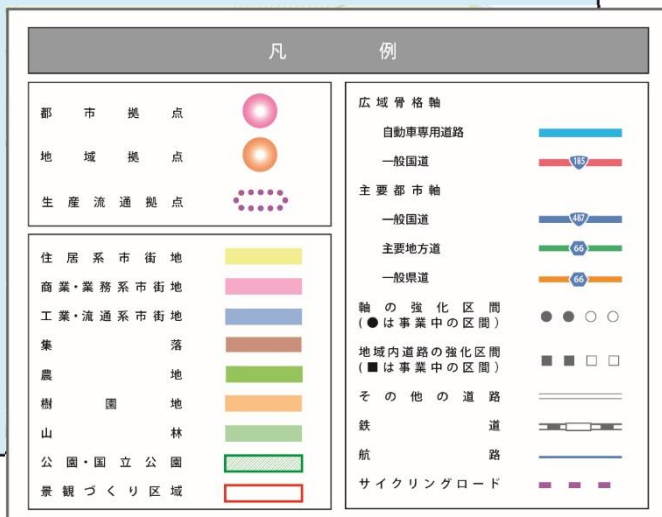
防災対策事業の推進



グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成

S=1:80,000 0 2000 4000m



※一部の施策を表記しており, 上記以外のものについては, 全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には, 方針図の着色に限らず, 土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(15) 下蒲刈地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

1,288人

（総人口に占める割合：0.6%）

■地域面積

872ha

（総面積に占める割合：1.5%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・日常生活を支える機能の一部が立地していますが、日用品の買い物や通院などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。
- ・暮らしを支える身近な買い物環境の充実が望まれています。

都市活動

- ・みかんやレモンなどの柑橘類の生産や漁業などの農水産業が営まれています。
- ・安芸灘とびしま海道として蒲刈・豊浜・豊地域、愛媛県今治市（岡村島）と一体的な取組が行われており、サイクリングやマラソン、アウトドアなどの自然環境を生かしたまちづくりや文化・自然環境を生かした飲食・宿泊施設の整備など多様な起業が行われています。梶ヶ浜においてはワーケーションに対応したコワーキングスペースが整備されています。

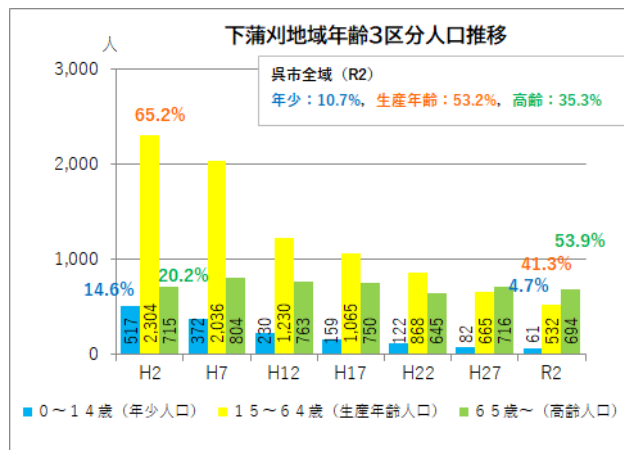
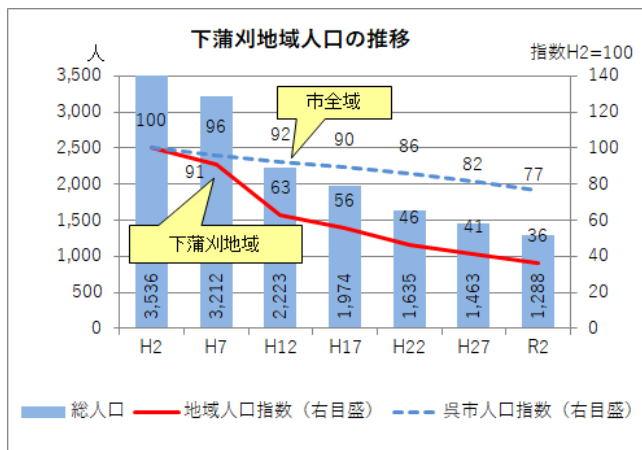
都市基盤

- ・地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・安芸灘大橋によって川尻地域と結ばれています。（主）下蒲刈川尻線などにはサイクリングロード（ブルーライン）が整備されています。
- ・主要な道路が海岸線に位置し、その道路沿いの僅かな平坦地を中心に集落を形成しています。
- ・松濤園などの文化施設や石畳の整備など、歴史や文化を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

都市環境

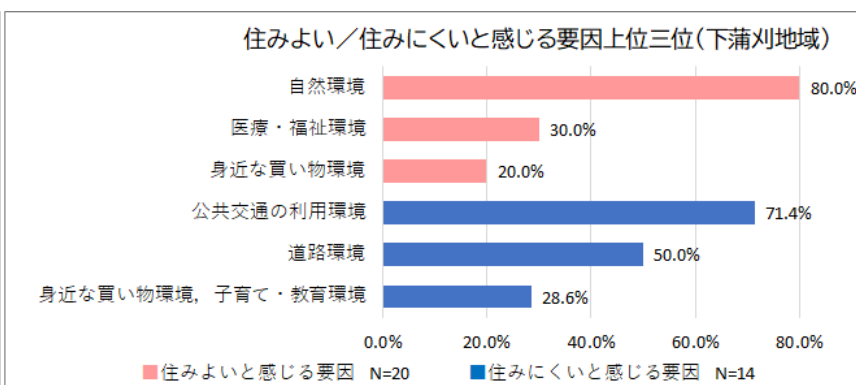
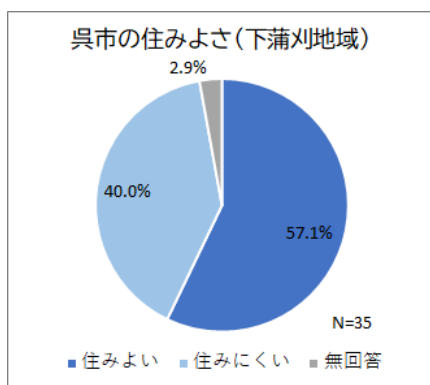
- ・多島美の美しい自然景観が広がっています。
- ・朝鮮通信使などの歴史・文化的な町並みに配慮した景観形成に取り組んでいます。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

下蒲刈地域 (N=35)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	80.0%	川尻	5.7%	中央・安浦	2.9%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	60.0%	中央	11.4%	広島市	11.4%
外食	広	51.4%	中央	11.4%	広島市・東広島市	5.7%
病気やけがの治療	広	45.7%	下蒲刈	20.0%	中央	17.1%
文化・スポーツ活動、習い事など	広	37.1%	下蒲刈	11.4%	中央・広島市	5.7%
娯楽・レジャー	広島市	22.9%	広	14.3%	東広島市	11.4%
通勤・通学	広	22.9%	中央	20.0%	下蒲刈	11.4%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

[松濤園等の文化施設と石畳]



[安芸灘大橋]



◇地域のまちづくり活動

下蒲刈地域には下蒲刈まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動や朝鮮通信使に関連する伝統行事の継承活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・既存の集落環境の保全を図るとともに、身近な買い物環境や交通サービスの確保など、地域拠点の形成に向けた検討が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域資源を生かした既存施設の活用や農水産業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

- ・地域との協働や関連施策と連携した拠点形成の検討
- ・農水産業施策などと連携した集落環境の保全

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・空き家の多目的利用とそれと連動した起業・創業支援の推進
- ・ワーケーションやブレジジャーなどに対応した環境整備の促進
- ・三之瀬地区の多様な施設の利活用の推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路の機能強化（(主)下蒲刈川尻線など）
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■瀬戸内の自然環境を体感できる施設の利活用の推進

- ・梶ヶ浜海水浴場やキャンプ場などの多様な施設の利活用の推進

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災, 強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・土砂災害, 水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進
- ・災害リスクの周知による住環境の安全確保

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・歴史・文化的な町並みや瀬戸内の美しい景観の保全・形成

下蒲刈地域の都市づくりの方針

地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

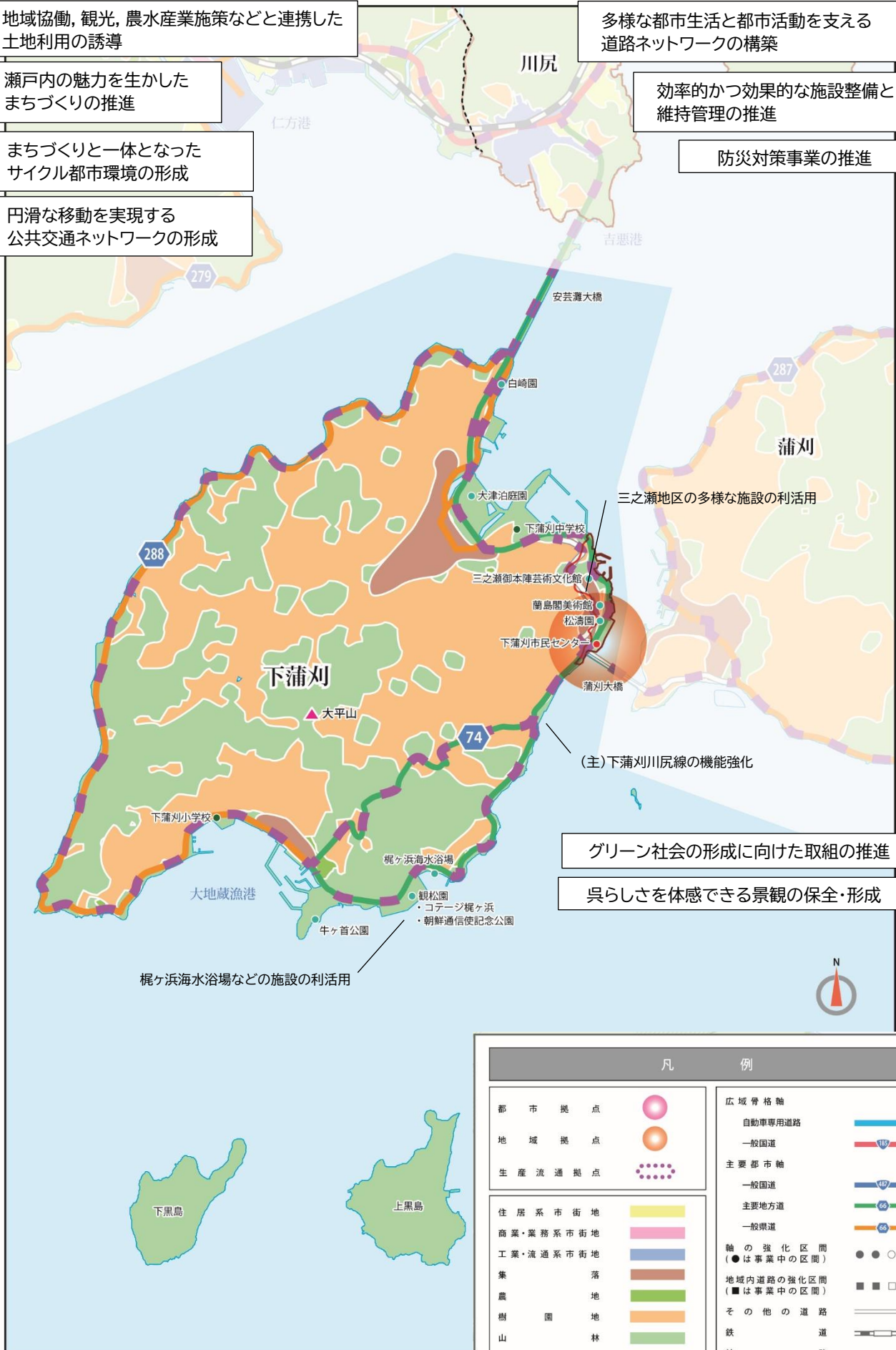
まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

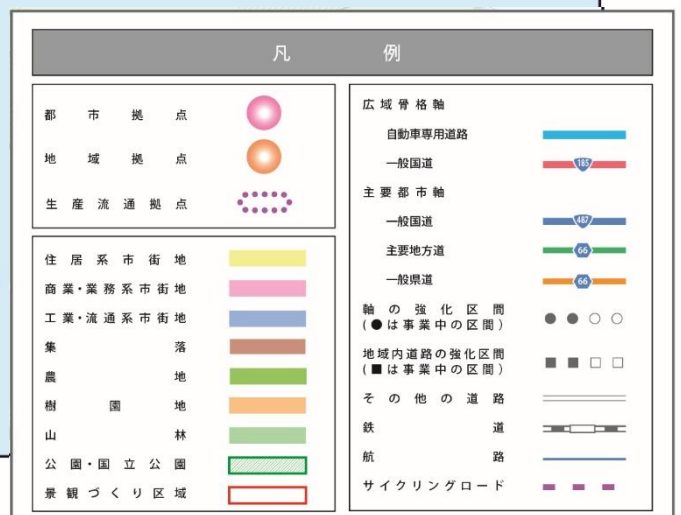
効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

防災対策事業の推進



S=1:34,000

0 1000 1750m



※一部の施策を表記しており, 上記以外のものについては, 全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には, 方針図の着色に限らず, 土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(16) 蒲刈地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

1,423人

（総人口に占める割合：0.7%）

■地域面積

1,898ha

（総面積に占める割合：5.4%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・日常生活を支える機能の一部が立地していますが、日用品の買い物や通院などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。
- ・暮らしを支える身近な買い物環境の充実が望まれています。

都市活動

- ・みかんやレモンなどの柑橘類の生産や漁業などの農水産業が営まれています。
- ・安芸灘とびしま海道として下蒲刈・豊浜・豊地域、愛媛県今治市（岡村島）と一体的な取組が行われており、サイクリングやマラソン、アウトドアなどの自然環境を生かしたまちづくりや文化・自然環境を生かした飲食・宿泊施設の整備など多様な起業が行われています。

都市基盤

- ・地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・農道橋である蒲刈大橋によって下蒲刈地域方面へ、豊浜大橋によって豊浜地域へ結ばれています。（一）上蒲刈循環線などにはサイクリングロード（ブルーライン）が整備されています。
- ・主要な道路が海岸線に位置し、その道路沿いの僅かな平坦地を中心に集落を形成しています。
- ・県民の浜には宿泊施設や温浴施設、海水浴場、天体観測館など自然体験型のレクリエーション施設が整備されています。

都市環境

- ・多島美の美しい自然景観が広がっています。

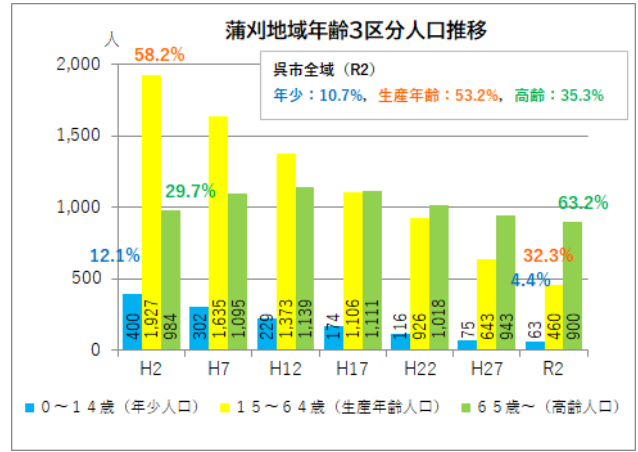
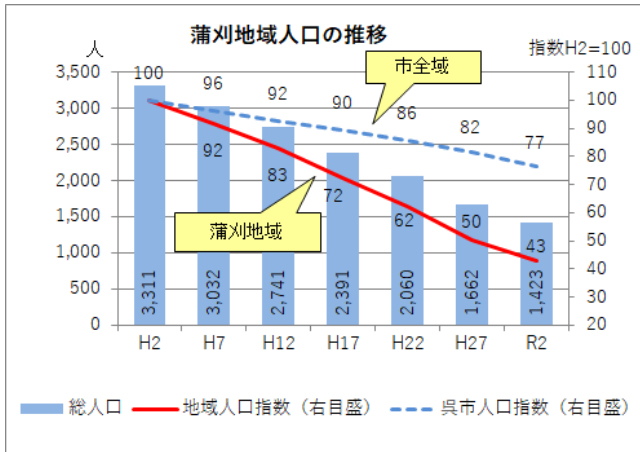
【県民の浜】



【安芸灘とびしま海道オレンジライド】

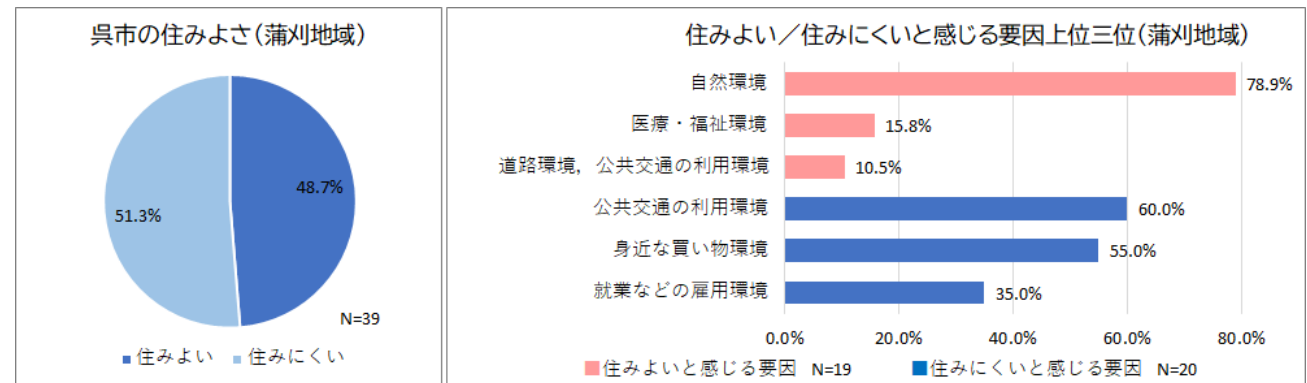


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

蒲刈地域 (N=39)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	74.4%	蒲刈	7.7%	中央・阿賀・下蒲刈・東広島市	2.6%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	66.7%	広島市	12.8%	東広島市	5.1%
外食	広	59.0%	東広島市	10.3%	中央	7.7%
病気やけがの治療	広	46.2%	下蒲刈	20.5%	蒲刈	12.8%
文化・スポーツ活動、習い事など	蒲刈	15.4%	広	12.8%	広島市	10.3%
娯楽・レジャー	広島市	25.6%	広	17.9%	東広島市	12.8%
通勤・通学	広	15.4%	蒲刈	10.3%	中央・川尻・東広島市・その他	5.1%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

蒲刈地域には蒲刈町まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、交通安全活動や海浜の美化活動など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・既存の集落環境の保全を図るとともに、身近な買い物環境や交通サービスの確保など、地域拠点の形成に向けた検討が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域資源を生かした既存施設の活用や農水産業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

- ・地域との協働や関連施策と連携した拠点形成の検討
- ・農水産業施策などと連携した集落環境の保全

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・空き家の多目的利用とそれと連動した起業・創業支援の推進
- ・ワーケーションやブレッジャーなどに対応した環境整備の促進
- ・県民の浜の宿泊施設や温浴施設などの多様な施設の利活用の推進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路の機能強化 ((一)上蒲刈循環線, (一)豊浜蒲刈線など)
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災, 強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・土砂災害, 水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進
- ・災害リスクの周知による住環境の安全確保

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・瀬戸内の美しい景観の保全・形成

蒲刈地域の都市づくりの方針図

地域協働, 観光, 農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

防災対策事業の推進

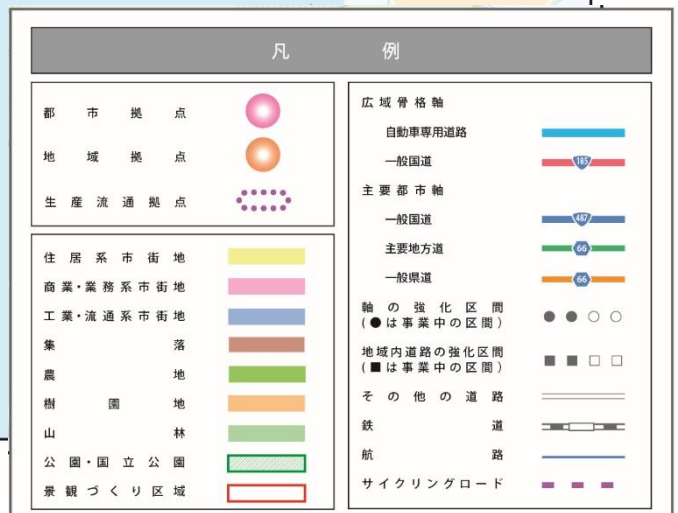
グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成



S=1:50,000

0 1000 2000m



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(17) 豊浜地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

1,172 人

（総人口に占める割合：0.5%）

■地域面積

1,168ha

（総面積に占める割合：3.3%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・日常生活を支える機能の一部が立地していますが、日用品の買い物などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。
- ・暮らしを支える身近な買い物環境の充実が望まれています。

都市活動

- ・みかんやレモンなどの柑橘類の生産や漁業などの農水産業が営まれています。
- ・安芸灘とびしま海道として下蒲刈・蒲刈・豊地域、愛媛県今治市（岡村島）と一体的な取組が行われており、サイクリングやマラソン、アウトドアなどの自然環境を生かしたまちづくりや文化・自然環境を生かした飲食・宿泊施設の整備など多様な起業が行われています。

都市基盤

- ・地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・離島航路である斎島航路（久比～斎島）が就航しています。
- ・地域は豊島と大崎下島の二島に渡っており、農道橋である豊浜大橋で結ばれています。また、豊島大橋（(一)豊浜蒲刈線）によって蒲刈地域方面へ結ばれています。(一)豊島線などにはサイクリングロード（ブルーライン）が整備されています。
- ・主要な道路が海岸線に位置し、その道路沿いの僅かな平坦地を中心に集落を形成しています。

都市環境

- ・多島美の美しい自然景観が広がっています。

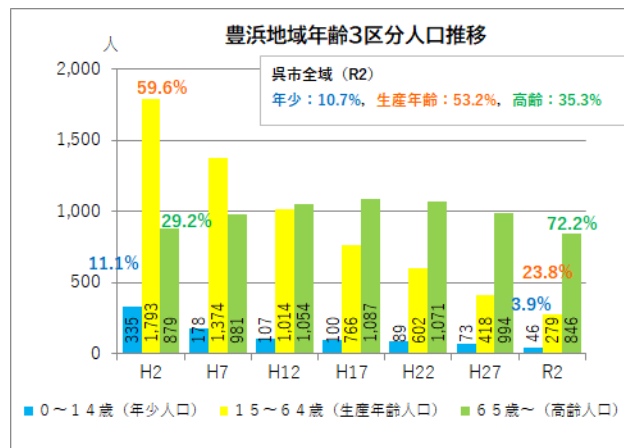
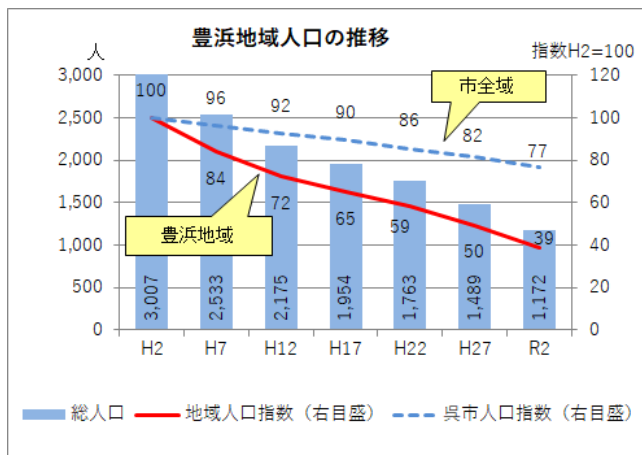
[豊島タチウオ]



[豊島大橋]

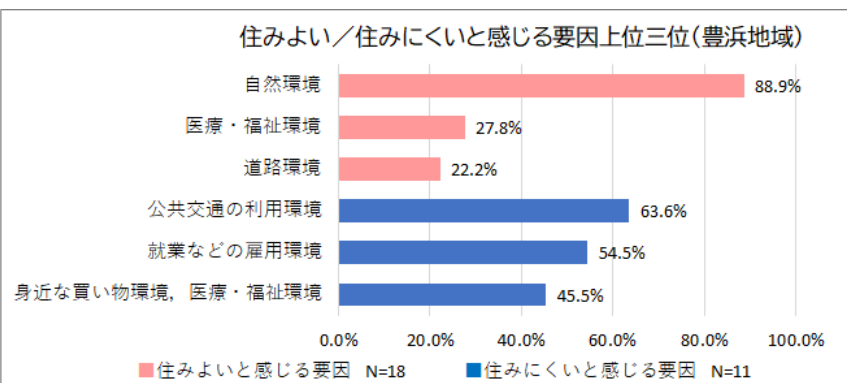
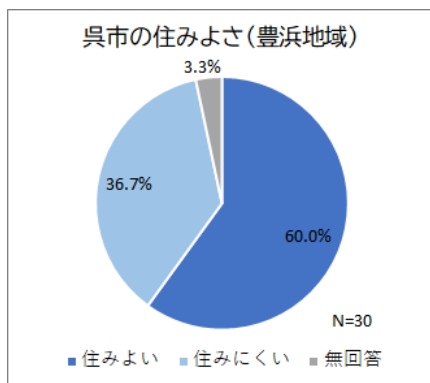


■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

豊浜地域 (N=30)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	66.7%	豊浜	23.3%		
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	66.7%	東広島市	10.0%	中央	6.7%
外食	広	66.7%	広島市	6.7%	東広島市・その他	3.3%
病気やけがの治療	豊浜	40.0%	広	36.7%	中央	6.7%
文化・スポーツ活動、習い事など	豊浜	23.3%	広	13.3%	広島市	6.7%
娯楽・レジャー	広	20.0%	広島市	20.0%	豊浜	6.7%
通勤・通学	豊浜	26.7%	広	6.7%	蒲刈	6.7%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

◇地域のまちづくり活動

豊浜地域には豊浜町まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、交通安全活動や特産品の開発、農業・漁業体験の取組など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・既存の集落環境の保全を図るとともに、身近な買い物環境や交通サービスの確保など、地域拠点の形成に向けた検討が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域資源を生かした既存施設の活用や農水産業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

- ・地域との協働や関連施策と連携した拠点形成の検討
- ・農水産業施策などと連携した集落環境の保全

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・空き家の多目的利用とそれと連動した起業・創業支援の推進
- ・ワーケーションやブレジジャーなどに対応した環境整備の促進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進 ((一)豊島線など)
- ・道路の機能強化 ((一)豊浜蒲刈線, (一)大崎下島循環線など)
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進
- ・災害リスクの周知による住環境の安全確保

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・瀬戸内の美しい景観の保全・形成

豊浜地域の都市づくりの方針図

地域協働，観光，農水産業施策などと連携した
土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かした まちづくりの推進

（一）豊浜蒲刈線の機能強化

(一)豊島線の整備

(一)大崎下島循環線の機能強化

多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

まちづくりと一体となった
サイクル都市環境の形成

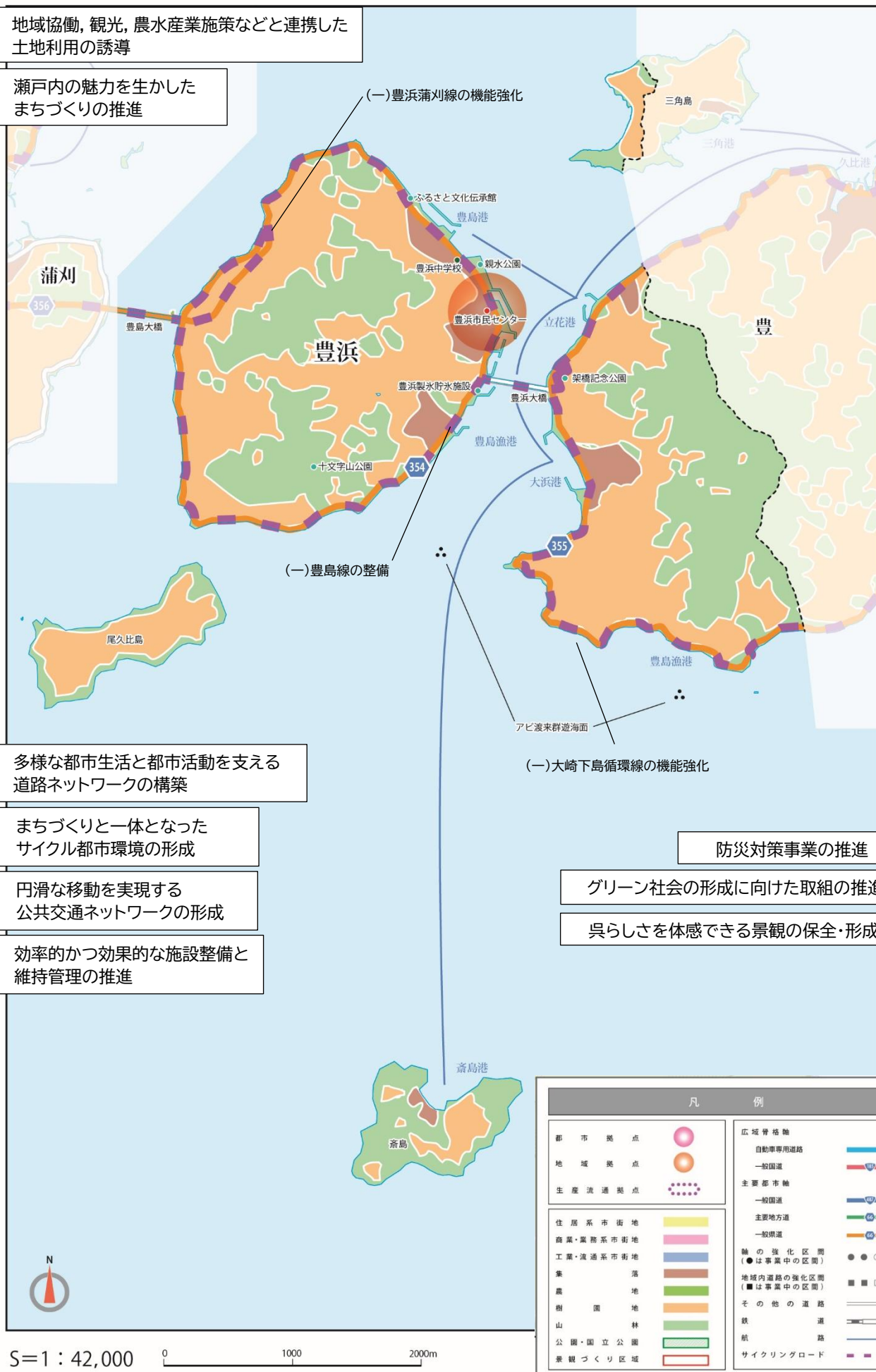
円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成



※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

(18) 豊地域

■地域人口（令和2年国勢調査）

1,525 人

（総人口に占める割合：0.7%）

■地域面積

1,408ha

（総面積に占める割合：4.0%）



位置図

①地域の役割

地域の役割

地域拠点 ●

- ・日常生活を支える都市機能の集積を図るとともに、都市機能を補完するため、広地域などとの連携強化を図ります。

②地域の概況と特性

人口動向

- ・市全域と比較して人口減少の割合が大きく、少子高齢化が著しく進展しています。

都市生活

- ・日常生活を支える機能の一部が立地していますが、日用品の買い物や通院などの日常生活においては広地域との結びつきが強くなっています。
- ・暮らしを支える身近な買い物環境の充実が望まれています。

都市活動

- ・大長みかんやレモンなどの柑橘類の生産や漁業などの農水産業が営まれています。
- ・安芸灘とびしま海道として下蒲刈・蒲刈・豊浜地域、愛媛県今治市（岡村島）と一体的な取組が行われており、サイクリングやマラソン、アウトドアなどの自然環境を生かしたまちづくりや文化・自然環境を生かした飲食・宿泊施設の整備など多様な起業が行われています。

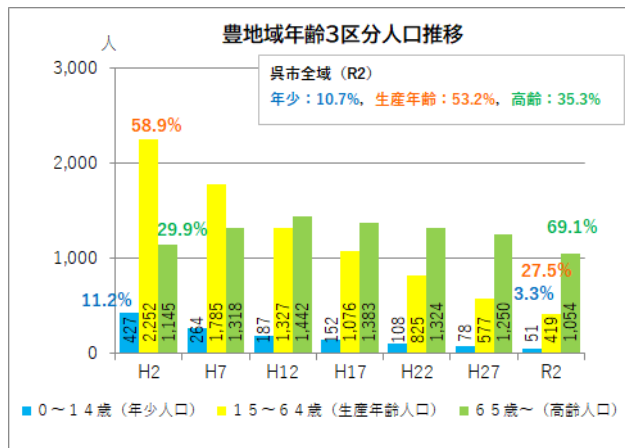
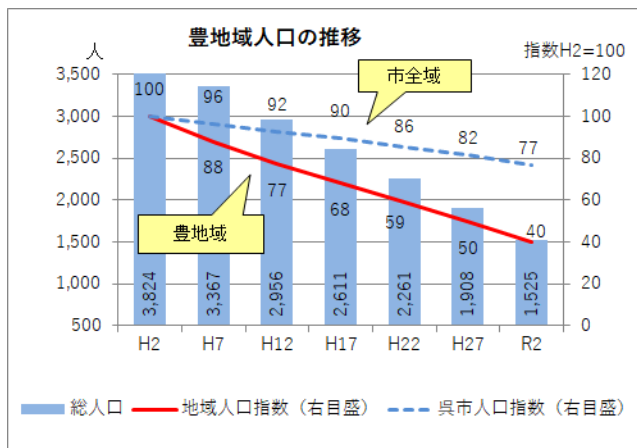
都市基盤

- ・地域内に鉄路はなく、車や地域内外を結ぶバスが主要な交通を支えており、日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められています。
- ・離島航路である三角航路（久比～三角）、生活航路である小長明石航路（小長～明石）が就航しています。
- ・（一）大崎下島循環線によって豊浜地域と結ばれ、また、農道橋である豊浜大橋によって豊浜（豊島）方面へ結ばれています。（一）大崎下島循環線などにはサイクリングロード（ブルーライン）が整備されています。平羅橋、中ノ島瀬戸大橋、岡村大橋を経て愛媛県今治市の岡村島へ繋がっています。
- ・主要な道路が海岸線に位置し、その道路沿いの僅かな平坦地を中心に集落を形成しています。
- ・風待ち・潮待ちの港町として栄えた御手洗地区は、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」を構成する文化財群であり、また、重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。当時の面影を残す建築物が多く残されており、歴史的な町並みの保存とそれらを活用したまちづくりに取り組んでいます。

都市環境

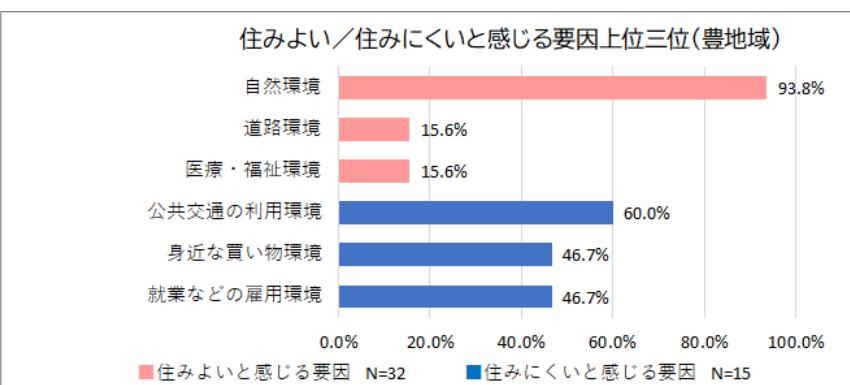
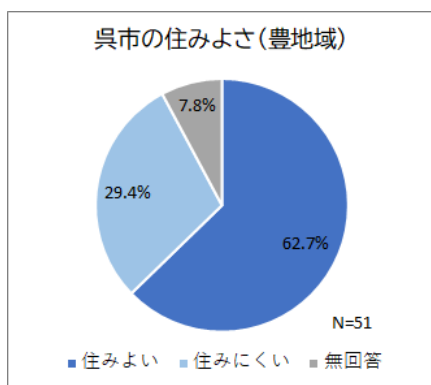
- ・多島美の美しい自然景観が広がっています。
- ・御手洗地区では歴史的な町並みの保全に取り組んでいます。

■人口の動向



資料：総務省「国勢調査（平成2年～令和2年）」

■地域のニーズ



資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

■日常的な行動においてよく訪れる地域

豊地域 (N=51)	第1位		第2位		第3位	
	地域	割合	地域	割合	地域	割合
食品や日用品の購入	広	58.8%	豊	29.4%	中央・川尻	2.0%
日用品以外の衣料品や家電製品などの購入	広	66.7%	中央	13.7%	広島市	9.8%
外食	広	60.8%	中央	9.8%	東広島市	5.9%
病気やけがの治療	広	35.3%	豊	35.3%	下蒲刈	9.8%
文化・スポーツ活動、習い事など	豊	23.5%	広	21.6%	中央	3.9%
娯楽・レジャー	広島市	23.5%	東広島市	11.8%	中央	9.8%
通勤・通学	豊	19.6%	広	11.8%	その他	7.8%

資料：「呉市都市計画マスタープランの改定に伴うアンケート調査」

〔御手洗町並み保存地区〕



〔大長みかん〕



◇地域のまちづくり活動

豊地域には豊町まちづくり協議会が設置されており、地域まちづくり計画を策定し、防災活動や納涼祭などの地域イベントの開催など地域住民による自主的なまちづくり活動が行われています。

③地域の都市づくりの課題

- ・既存の集落環境の保全を図るとともに、身近な買い物環境や交通サービスの確保など、地域拠点の形成に向けた検討が必要です。また、地域内外の連絡強化に向け、移動のニーズに対応した公共交通ネットワークの形成などの取組が必要です。
- ・定住や交流の促進に向け、地域資源を生かした既存施設の活用や農水産業施策などとの連携を推進するとともに、起業、空き家の活用などを促進し、地域の魅力を高めていく取組が必要です。

④分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

■地域協働、観光、農水産業施策などと連携した土地利用の誘導

- ・地域との協働や関連施策と連携した拠点形成の検討
- ・農水産業施策などと連携した集落環境の保全

■瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進

- ・御手洗地区の町並みの保全と活用の推進
- ・空き家の多目的利用とそれと連動した起業・創業支援の推進
- ・ワーケーションやブレッジャーなどに対応した環境整備の促進

イ 交通体系の整備の方針

■多様な都市生活と都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・道路整備の推進（市道沖友一周線など）
- ・道路の機能強化（（一）大崎下島循環線など）
- ・交通安全対策など地域内の道路整備の推進

■円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成

- ・多様な交通モードによる公共交通ネットワークの形成

■まちづくりと一体となったサイクル都市環境の形成

- ・自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成
- ・サイクルツーリズムに対応した環境整備

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

■効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

- ・都市基盤施設の予防保全と施設の長寿命化の推進

エ 都市の防災・減災、強靱化の方針

■防災対策事業の推進

- ・土砂災害、水害及び地震・津波などに対する防災対策事業の推進
- ・災害リスクの周知による住環境の安全確保

オ 都市環境の保全・形成の方針

■グリーン社会の形成に向けた取組の推進

- ・豊かな自然環境の保全

■呉らしさを体感できる景観の保全・形成

- ・歴史・文化的な町並みや瀬戸内の美しい景観の保全・形成

豊地域の都市づくりの方針図

地域協働、観光、農水産業施策などと連携した
土地利用の誘導

瀬戸内の魅力を生かした
まちづくりの推進

まちづくりと一体となった
サイクル都市環境の形成

円滑な移動を実現する
公共交通ネットワークの形成

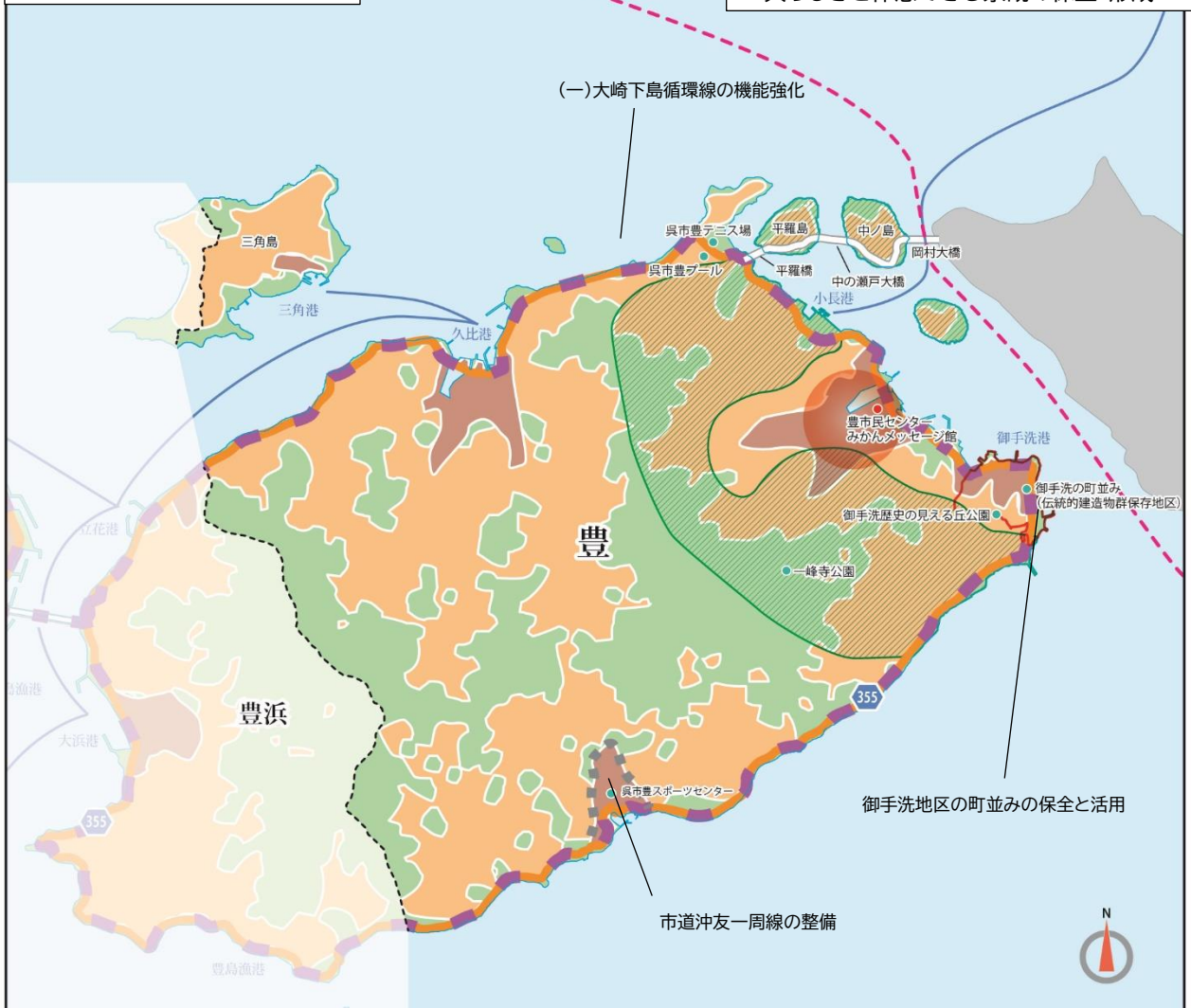
多様な都市生活と都市活動を支える
道路ネットワークの構築

効率的かつ効果的な施設整備と 維持管理の推進

防災対策事業の推進

グリーン社会の形成に向けた取組の推進

呉らしさを体感できる景観の保全・形成



$S = 1 : 45,000$



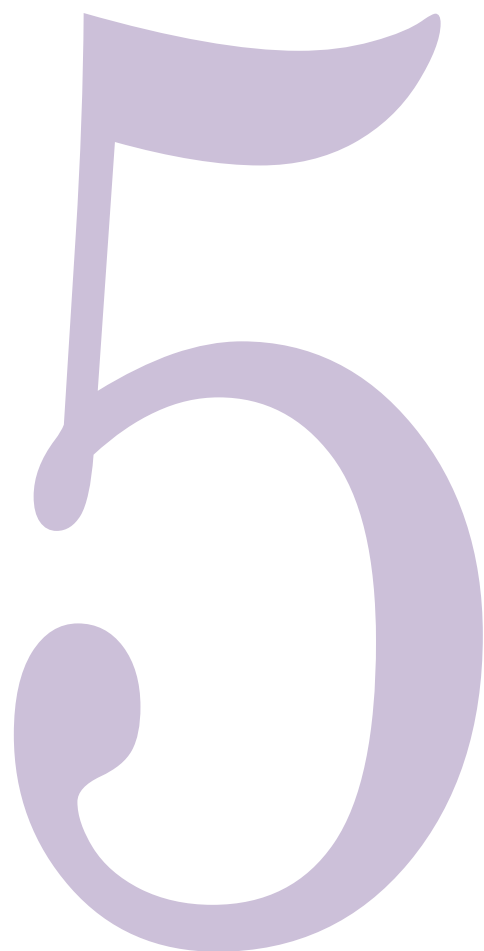
※一部の施策を表記しており、上記以外のものについては、全体構想に基づいた都市づくりに取り組みます。

※土地利用転換が生じる場合には、方針図の着色に限らず、土地利用の方針に基づき適正に土地利用の誘導を行います。

第5章 都市づくりの推進方策

5.1 都市の将来像の実現に向けた都市づくりの展開

5.2 都市計画マスタープランの進行管理と適切な見直し



5.1 都市の将来像の実現に向けた都市づくりの展開

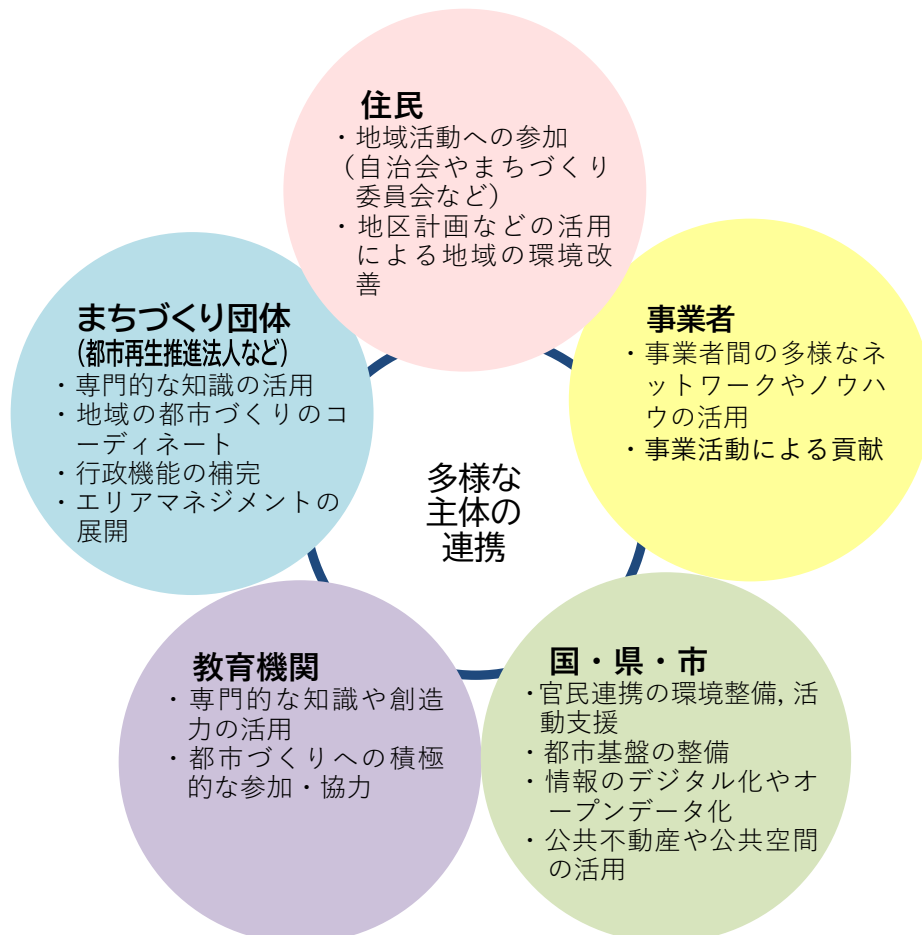
(1) 多様な手法の活用と機動的な都市づくりの推進

都市の将来像の実現に向け、より効果的な都市づくりを進めるため、国・県などの関係機関や関係部署との横断的な連携を図るとともに、都市計画制度の活用に限らず、関連する多様な制度や施策など一体となった都市づくりを推進します。また、人口減少や頻発・激甚化する気象災害、ICTの進展など、都市を取り巻く環境はこれまでに経験のない状況にあり、本マスタープランに示す長期的なビジョンの基で、社会実験やその検証などに基づき、様々な課題に機敏かつ柔軟に対応する機動的な都市づくりに取り組みます。



(2) 官民連携・市民協働の都市づくりの推進

都市づくりは、国・県・市の行政機関だけでなく、住民やNPO団体、事業者、教育機関等の多様な主体の役割を明確にし、良好なパートナーシップを確立して互いに協力することでまちづくりを進めるものとします。また、多様な主体との連携・協働を図る中で、取組の内容によっては、呉市外に居住する方々の意見を取り入れるなど、多角的な視点から課題解決に取り組み、新たな価値を創造するまちづくりを推進します。



5.2 都市計画マスタープランの進行管理と適切な見直し

都市計画は、その目的の実現には、時間を要するため、中長期的な見通しをもって取り組む必要がありますが、都市を取り巻く社会情勢に変化が生じた場合には、柔軟に、適切に対応していく必要があります。

このため、PDCAサイクルを確立し、都市計画マスタープランがより実効性のあるものとなるよう、進行管理を行うとともに、必要に応じて見直しを行います。点検・評価は、施策などの進捗状況や関連する計画などにおいて設定された指標を参考として行います。

また、本マスタープランは、「第5次呉市長期総合計画」や「広島圏域都市計画マスタープラン」に即して策定していることから、今後、これらの上位計画の改訂が行われる場合には、必要に応じて、上位計画に沿った見直しを行います。

[PDCA サイクルによる進行管理]

